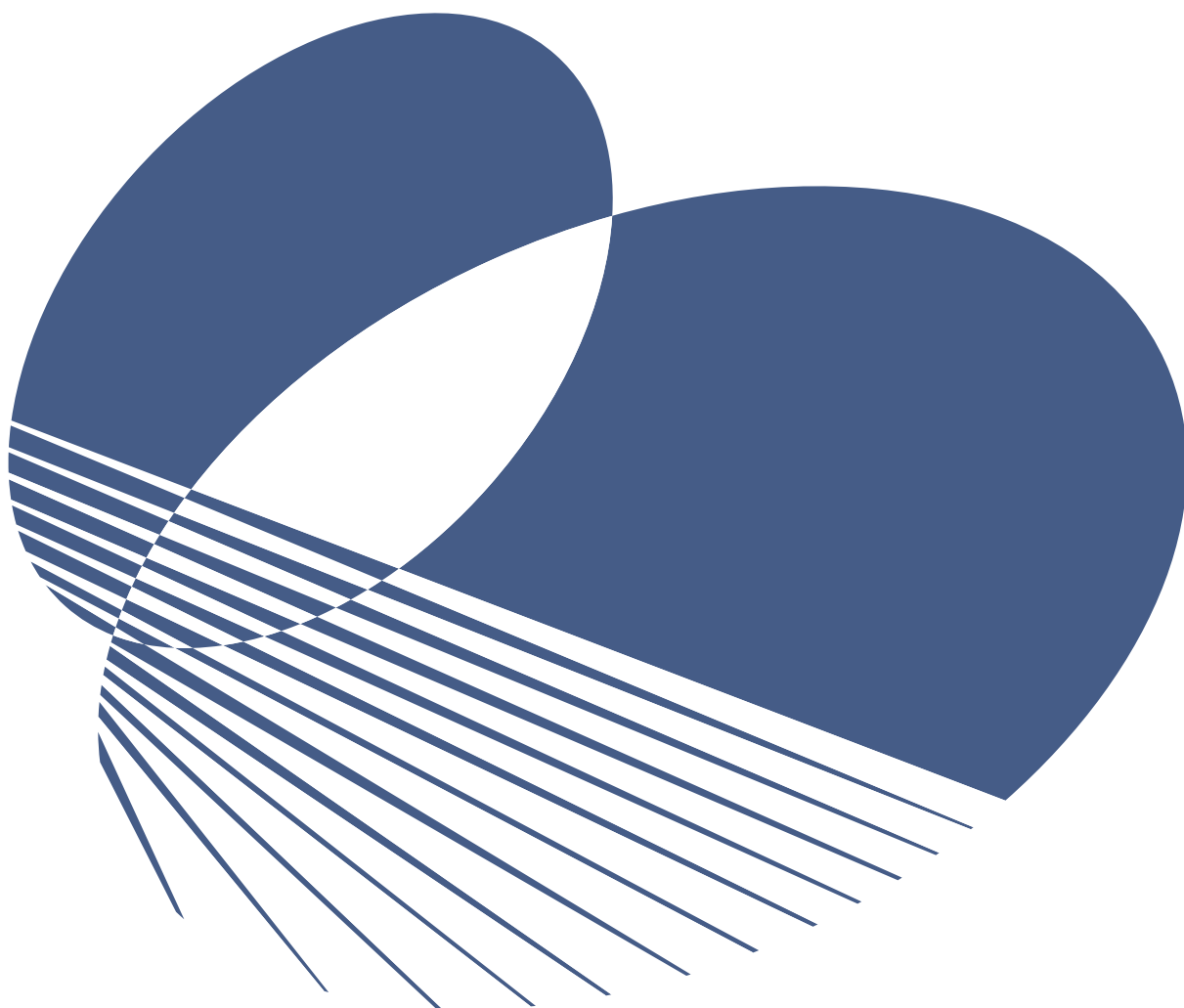


要

覧

令和4年度

(2022年度)



公益財団法人 名古屋市教育スポーツ協会

目 次

第 1 団体の概要

I 設立の目的	1
II 沿革	1
III 役員等名簿	8

第 2 組織

I 組織	10
II 事務分掌	11

第 3 令和 4 年度事業計画及び収支予算

I 事業計画	12
II 収支予算	30

第 4 令和 3 年度事業報告及び収支決算

I 事業報告	32
II 収支決算	57

〔参考資料〕

I 加盟団体一覧	71
II 名古屋市のスポーツ施設等一覧	72
III 学校開放事業一覧	76
IV 施設利用状況	80

第 1 団体の概要

I 設立の目的

市民が自分の適性と健康状態にあわせて、いつでも、どこでも自分からすすんでスポーツに親しみ、そのことを通して、明るく豊かな市民生活が送れるような諸条件を整備するため、名古屋市スポーツ振興計画（レインボープラン）が昭和 57 年 10 月に策定された。

この計画に沿って、柔軟で効率的なスポーツ施設の管理運営や事業の拡充を行えるよう、行政機関や関係団体等と緊密な連絡をとりつつ、より広い市民参加と民間活力の導入を図れる団体として当財団が設立された。

II 沿革

昭和 56 年 9 月 市民スポーツの振興策についての市の諮問に対し、名古屋市市民スポーツ振興会議から、答申書「市民スポーツ振興計画策定に関する中間報告書」が提出された。この中で、「公共スポーツ施設の管理運営委託は、経済的な面や専門能力活用の面から全国的に実施されており、現在の直営方式では、多様化かつ専門化した市民需要には十分応えられないので、各施設の固有機能、規模等を勘案し、市民サービスの立場からそれぞれの施設に応じた適切な委託方式を決定すべきである。」と提言を受ける。

前記「レインボープラン」で、「施設の維持管理や事業の実施などについて、その機能と経済性を十分発揮できるよう検討し、市民の利便性と施設の利用効率を高め、施設の情報を市民に提供できるよう努める。」ことなどがうたわれている。

担当部内で、前記答申や市民要望をふまえ、財団法人設立のための予算要求と関係者への調整を開始する。

昭和 58 年 3 月 昭和 58 年度当初予算議案が可決され、スポーツ施設の管理委託のため関係条例を改正

4 月 財団設立準備事務担当者 3 名（局付部長、主幹、主査各 1 名）を発令

8 月 設立準備会を開催し、役員予定者、寄付行為、昭和 58 年度事業計画及び収支予算を決定

10 月 愛知県教育委員会から財団法人名古屋市スポーツ振興事業団の設立許可。役員（理事 15 名、監事 2 名）を委嘱し、職員（職員 30 名、管理員 87 名）を発令。理事会を開催し、組織規程等、諸規程を決定

市体育館、露橋スポーツセンター、鳴海プール、名城庭球場、勤労青年レクリエーションセンター（15 センター）・地域スポーツセンター（53 センター）の受託管理を開始

昭和 58 年 11 月 スポーツトレーニングセンターの受託管理を開始

昭和 59 年 4 月 瑞穂運動場及び瑞穂プール（練習プールを除く）の受託管理を開始

5 月 地域スポーツセンター（新たに 10 センター）の受託管理を開始

- 昭和 59 年 10 月 設立 1 周年記念行事「スポーツ講演会」を開催
「ライブリー名古屋ストレッチング」を名古屋市及び名古屋市教育委員会と共同で制作
- 昭和 60 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 9 センター）の受託管理を開始
6 月 南陽プールの受託管理を開始
7 月 志段味スポーツランドの受託管理を開始
- 昭和 61 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 10 センター）の受託管理を開始
- 昭和 62 年 4 月 枇杷島スポーツセンターの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 3 センター）の受託管理を開始。勤労青年レクリエーションセンター（8 センター）が地域スポーツセンターへ移行
7 月 総合体育館の受託管理を開始
- 昭和 63 年 4 月 武豊野外活動センターの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始。勤労青年レクリエーションセンター（7 センター）が地域スポーツセンターへ移行。これにより地域スポーツセンターへの一元化完了
- 平成 元年 6 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始
7 月 稲永スポーツセンターの受託管理を開始
11 月 富田北プールの受託管理を開始
- 平成 2 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
7 月 天白スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 3 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始
10 月 事務局を瑞穂プール内より中央高校跡へ移転
- 平成 4 年 4 月 総合体育館レインボープールの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
7 月 緑スポーツセンター、北スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 5 年 4 月 山田西プールの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
9 月 港サッカー場の受託管理を開始
10 月 設立 10 周年記念式典を開催。同記念誌を発行。同記念イベントとして「ときめきスポーツフェスタ' 93」を開催
11 月 事務局を中央高校跡から総合体育館宿泊研修棟へ移転
- 平成 6 年 2 月 事務局を宿泊研修棟からスポーツ振興会館へ移転
設立 10 周年記念イベントとして「NSPA 招待サッカー大会」を開催
4 月 香流橋プールの受託管理を開始
スポーツ振興会館開館
7 月 中村スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 9 年 7 月 熱田プールの受託管理を開始
9 月 黒川スポーツトレーニングセンターの受託管理を開始

- 平成 9 年 10 月 名東スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 10 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（名称、目的及び事業）の変更を議決
- 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
- 4 月 新たに教育の振興に資する事業を行うことを目的に加え、名称を財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団へ変更
学校施設の開放事業の受託開始〔一般開放事業、スポーツ及び学習開放事業（市民教養ルーム）、名東高等学校学習開放事業、遊び場開放事業及びトワイライトスクール事業の新たな受託、地域スポーツセンターのスポーツ開放事業への移行〕
野外教育活動に係る事業の受託開始
- 6 月 上社レクリエーションルームの受託管理を開始
- 7 月 楠プール及び千種スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 11 年 3 月 遊び場開放事業の受託を終了
- 5 月 理事会を開催し、寄付行為（評議員及び評議員会の設置）の変更を議決
- 9 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
- 10 月 評議員及び評議員会の設置
- 平成 12 年 7 月 山田プールの受託管理を開始
- 平成 13 年 7 月 富田プール及び中スポーツセンターの受託管理を開始
- 10 月 東スポーツセンター（一部）の受託管理を開始
- 11 月 スポーツトレーニングセンター閉所に伴い受託管理を終了
- 平成 14 年 2 月 昭和スポーツセンターの受託管理を開始
- 11 月 東スポーツセンター（全館）の受託管理を開始
- 平成 15 年 3 月 経営改善計画を策定
- 7 月 名東プールの受託管理を開始
- 9 月 中長期計画を策定
- 10 月 設立 20 周年記念式典を開催。同記念誌を発行。同記念事業として〔スポーツ交流大会〕の開催、「NESPA ストレッチングビデオ」の制作などを実施
- 11 月 設立 20 周年記念事業として「トワイライトスクール交流会」を開催
- 平成 16 年 3 月 市民教養ルーム及び名東高等学校学習開放事業の受託を終了
- 4 月 総合体育館に利用料金制度導入
- 平成 17 年 3 月 楠プール、山田プール、熱田プール、富田プール及び名東プールの受託管理を終了
- 4 月 指定管理者として振甫プール、名城プール、熱田プール、富田プール及び天白プールの管理を開始
名古屋共同福祉施設の解散に伴い、総合体育館の一施設としてサンホール（サン笠寺）の受託管理を開始
学校体育センター管理運営事業の受託開始
財団法人名古屋市体育協会への職員の出向を開始

- 平成 18 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（目的及び事業、資産及び会計、役員等）の変更を議決
- 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
指定管理者制度への移行に伴い、総合体育館、瑞穂運動場、市体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、緑スポーツセンター、北スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、千種スポーツセンター、中スポーツセンター、東スポーツセンター、昭和スポーツセンター、志段味スポーツランド、鳴海プール、香流橋プール、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター、名城庭球場、上社レクリエーションルーム及び港サッカー場の受託管理を終了
- 4 月 財団法人名古屋市学校給食協会と統合。学校給食に係る事業を行うことを目的に加え、事業を開始
指定管理者として、総合体育館、瑞穂運動場、市体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、緑スポーツセンター、北スポーツセンター、名東スポーツセンター、千種スポーツセンター、中スポーツセンター、東スポーツセンター、香流橋プール、南陽プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター、名城庭球場及び港サッカー場の管理を開始
- 平成 19 年 3 月 新経営改善計画を策定
指定管理者としての期間満了に伴い、振甫プール、名城プール、熱田プール、富田プール及び天白プールの管理が終了
学校施設の開放事業のうち、一般開放事業の受託を終了
- 4 月 指定管理者として、振甫プール、楠プール、山田プール、稲葉地プール、港プール及び名東プールの管理を開始
ネーミングライツ（命名権）の導入により、総合体育館の愛称が日本ガイシスポーツプラザに変更
- 平成 20 年 3 月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、市体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理が終了
- 4 月 指定管理者として、総合体育館、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理を開始
- 平成 21 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（目的及び事業）の変更を議決
- 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
指定管理者としての期間満了に伴い、振甫プール、楠プール、山田プール、稲葉地プール、港プール及び名東プールの管理が終了
- 4 月 指定管理者として、青少年宿泊センター、稲葉地プール、熱田プール、名東プール、楠プール及び富田プールの管理を開始
放課後子どもプランモデル事業の受託開始

- 平成21年 12月 理事会を開催し、財団法人名古屋市体育協会との合併及びこれに伴う寄付行為（目的及び事業等）の変更を議決
- 平成22年 1月 愛知県教育委員会から合併及び寄付行為変更認可
- 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、緑スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、香流橋プール、南陽プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理が終了
地域スポーツセンターの受託管理及びスポーツ情報センターの運営業務を終了
財団法人名古屋市体育協会への職員の出向を終了
- 4月 財団法人名古屋市体育協会と合併。名称を財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ変更し、アマチュアスポーツの普及促進に係る事業を開始
指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理を開始
トワイライトスクール事業の運営主体が公募制となり、運営校数が256校となる。
地域スポーツセンターの学校調整及びモニタリング等業務を開始
- 平成23年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、稲葉地プール、熱田プール、名東プール、楠プール及び富田プールの管理が終了
- 4月 経営戦略計画を策定
指定管理者として、熱田プール及び楠プールの管理を開始
- 平成24年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理が終了
- 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター及び港サッカー場の管理を開始
トワイライトスクール事業の新規公募により、運営校数が1校増の257校となる。
- 6月 トワイライトスクール事業の新規公募により、運営校数が3校増の260校となる。
- 平成25年 3月 愛知県知事から公益財団法人として認定
指定管理者としての期間満了に伴い、青少年宿泊センター、熱田プール及び楠プールの管理が終了
- 4月 公益財団法人へ移行し、名称を公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ変更
指定管理者として、青少年宿泊センター、港プール、中川プール、熱田プール及び楠プールの管理を開始
スポーツ情報センターの運営業務を開始
公募により、トワイライトスクールが248校、トワイライトルームが14校の運営校数となる。
- 10月 設立30周年。記念事業として、「NESPA ストレッチング2 DVD」及び「温水プール・トレーニング室ガイド」の制作などを実施

- 平成25年 11月 設立 30 周年記念事業としてスポーティブ・ライフ月間エンディング・イベントにおいて「やろまい ストレッチ&ラジオ体操」などの各種記念事業を実施
- 平成26年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理が終了
- 4月 第2次経営戦略計画を策定
愛知県から公益変更認定を受け、定款を一部変更
指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、青少年交流プラザ、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始
公募により、トワイライトスクールが 219 校、トワイライトルームが 24 校の運営校数となる。
地域スポーツセンター運営指導等業務の受託開始
- 平成27年 4月 ネーミングライツ（命名権）の導入により、瑞穂運動場の愛称がパロマ瑞穂スポーツパークに変更
小学校の統合による運営校数の 1 校減少及びトワイライトルーム事業へ 4 校移行したことにより、トワイライトスクール 214 校、トワイライトルーム 28 校の運営校数となる。
- 平成28年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、熱田プール及び楠プールの管理が終了
- 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、富田プール、楠プール、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理を開始
トワイライトルーム事業へ 8 校移行したことにより、トワイライトスクール 206 校、トワイライトルーム 36 校の運営校数となる。
- 平成29年 3月 第3次経営戦略計画を策定
指定管理者としての期間満了に伴い、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センターの管理が終了
地域スポーツセンター運営指導業務の受託が終了
- 4月 指定管理者として、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センター（青少年交流プラザ分館）の管理を開始
公募によりトワイライトスクールが 204 校、トワイライトルーム 41 校の運営校数となる。
- 平成30年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中川プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理が終了

- 平成30年 4月 指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中川プール、山田プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始
公募によりトワイライトスクールが 206 校、トワイライトルーム 46 校の運営校数となる。
- 平成31年 3月 学校体育センター管理運営事業の受託終了
4月 公募によりトワイライトスクールが 205 校、トワイライトルーム 47 校の運営校数となる。
- 令和 2年 3月 第4次経営戦略計画を策定
指定管理者として、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理が終了
4月 指定管理者として、千種生涯学習センター、西生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理を開始
公募によりトワイライトスクールが 205 校、トワイライトルーム 47 校の運営校数となる。
- 令和 3年 4月 公募によりトワイライトスクールが 204 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。
6月 指定管理者として、瑞穂公園体育館の管理を開始
- 令和 4年 4月 公募によりトワイライトスクールが 202 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。

Ⅲ 役員等名簿

令和４年７月１日現在

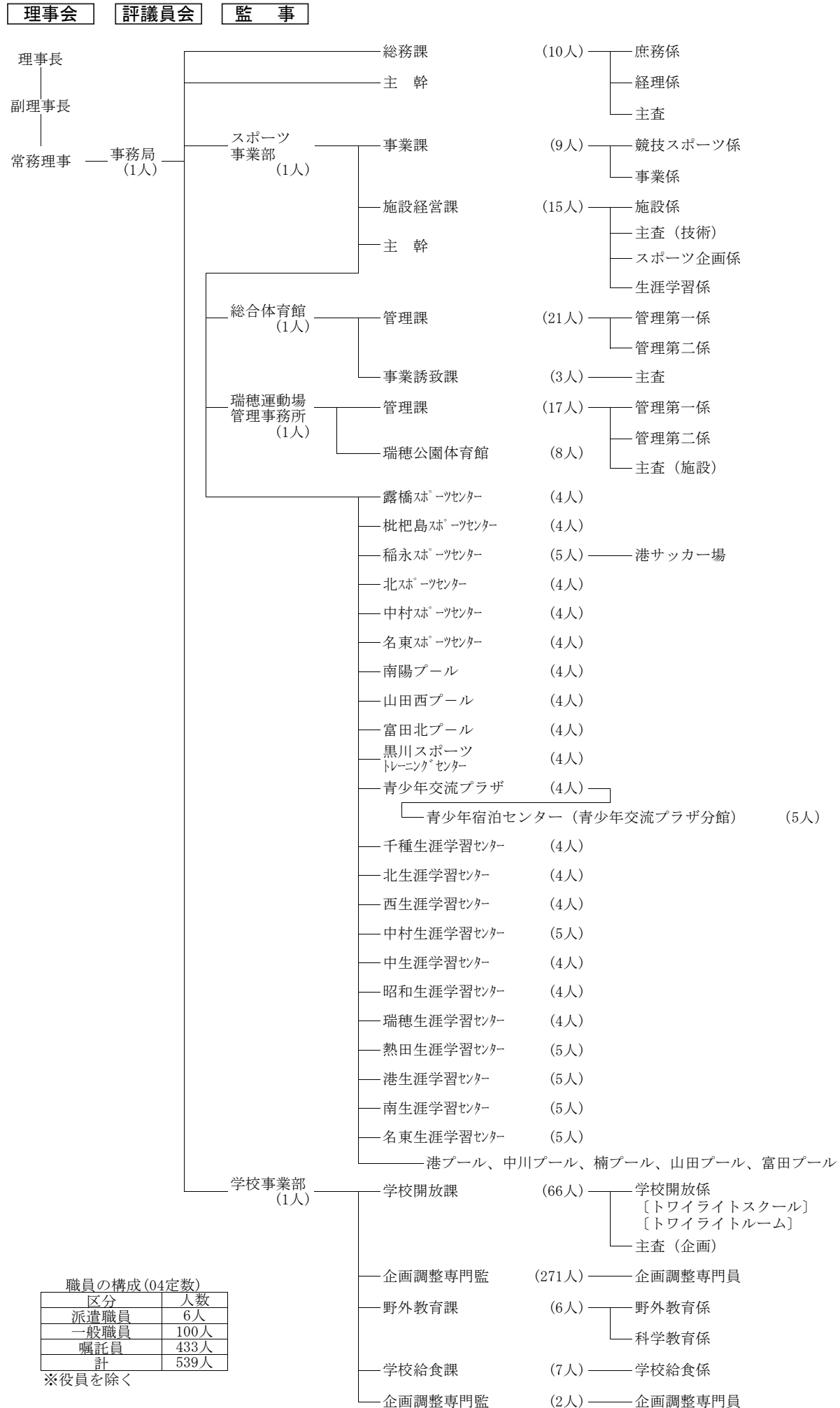
役 職 名	氏 名	役 職
理 事 長	河 野 和 彦	－
副理事長	後 藤 泰 之	名古屋市体育協会会長
常務理事	三 輪 浩 文	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会事務局長
理 事	渡 辺 佐知子	名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長
	高 橋 公比古	名古屋市ハンドボール協会副会長
	箕輪田 晃	名古屋市水泳連盟会長
	尾 野 博 之	名古屋市剣道連盟理事長
	大 橋 一 之	名古屋市瑞穂区体育協会会長
	中 嶋 幸 吉	名古屋市中村区体育協会会長
	中 野 幸 夫	名古屋市区政協力委員議長協議会副議長
	小 林 義 雄	名古屋市レクリエーション協会会長
	増 田 正	名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会会長
	鬼 頭 恵 助	元名古屋市立小中学校 PTA 協議会会長
	中 路 恭 平	南山大学教授
	二 村 高 博	名古屋市ソフトボール協会理事長
	久 野 千嘉子	名古屋市スケート協会理事長
	寺 澤 雅 代	スポーツ市民局長
	近 藤 晃	名古屋市名東区長
	久 野 賢 二	名古屋市立鶴舞小学校長
	河 合 雄 介	名古屋市立東山小学校教諭
監 事	高 橋 雅 大	名古屋青年会議所理事長
	竹 内 勇 夫	－

役 職 名	氏 名	役 職
評 議 員	森 達 郎	名古屋市レクリエーションインディアカ連絡協議会会長
	塚 原 博 臣	名古屋市スキー協会会長
	山 田 桂 子	名古屋市ドッジボール協会理事
	松 永 裕 和	名古屋市相撲連盟副会長
	青 木 実	名古屋市陸上競技協会会長
	若 松 文 彦	名古屋市バレーボール協会副会長
	弓 矢 恭 代	名古屋市バトン協会副理事長
	重 富 亮	名古屋市守山区体育協会会長
	井 上 紀代史	元名古屋市立小中学校 PTA 協議会常任理事
	淀 川 悦 子	名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会女性代表
	小 川 智 樹	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団スポーツ振興部長
	早 瀬 和 利	愛知教育大学名誉教授
	菊 池 秀 夫	中京大学教授
	小 杉 裕 子	椙山女学園大学教授
	山 本 彩 未	中部大学講師
	大 西 謙 一	名古屋市体操協会理事長
	吉 見 昌 久	スポーツ市民局スポーツ推進部長
	枘 田 勝	名古屋市教育委員会事務局指導部長
	鈴 木 健	名古屋市立丸の内中学校長
	加 藤 裕 司	名古屋市立向陽高等学校長
	佐々木 裕 隆	名古屋市立北高等学校長
	松 崎 大 河	名古屋市立大江中学校教諭

第2 組 織

I 組織

令和4年7月1日現在



Ⅱ 事務分掌

i 事務局

令和4年7月1日現在

〒457-0833 名古屋市南区東又兵ヱ町 5 丁目 1 番地の 16（スポーツ振興会館内）				
課 名	係 名	主な業務		TEL・FAX
総 務 課	庶 務 係	1 理事会・評議員会 2 人事・給与・福利厚生・労働災害 3 職員研修 4 文書・公印 5 定款・諸規程の制定改廃 6 資産の出納保管 7 事業計画 8 官公庁その他外部との連絡調整 9 スポーツ振興会館の管理 10 広報 11 他部、課、室、係、事務所の所管に属さないこと		TEL (052) 614-7501 FAX (052) 614-7525
	経 理 係	1 予算・決算 2 予算配当 3 予算執行の総合調整 4 経営に係る企画及び調整		TEL (052) 614-7502 FAX (052) 614-7525
事 業 課	競 技 スポーツ係	1 アマチュアスポーツの普及振興事業 2 スポーツ功労者の表彰 3 加盟団体及び賛助会員 4 スポーツ大会等の開催及び協力（他係の所管に属さないもの）		TEL (052) 614-7100 FAX (052) 614-7149
	事 業 係	1 スポーツ・レクリエーションの普及振興事業の企画及び実施 2 スポーツ・レクリエーション事業に伴う名古屋市及びスポーツ・レクリエーション団体との調整 3 体育施設等の情報提供事業 4 スポーツ資料展示室の企画運営		TEL (052) 614-7504 FAX (052) 614-7149
施設経営課	施 設 係	1 体育施設等の指定管理業務（他係の所管に属さないもの） 2 スポーツ・レクリエーション情報システムの管理運営 3 スポーツ情報センター・スポーツ資料展示室の管理 4 施設の保全管理・施設との連絡調整 5 部内他課、係、事務所の所管に属さないこと		TEL (052) 614-7519 FAX (052) 614-7525
	スポーツ企画係	1 体育施設等の指定管理者応募に係る企画及び調整		TEL (052) 614-7532
	生涯学習係	1 生涯学習施設等の指定管理者応募に係る企画及び調整		FAX (052) 614-7525
学校開放課	学校開放係	1 トワイライトスクール事業、トワイライトルーム事業、学校施設の開放事業 2 部内他課の所管に属さないこと		TEL (052) 614-7506 FAX (052) 614-7530
野外教育課	野外教育係	1 野外教育事業 2 他係の所管に属さないこと		TEL (052) 614-5143 FAX (052) 614-7524
	科学教育係	1 科学教育事業		
〒456-0072 名古屋市熱田区川並町 2 番 22 号（中央卸売市場本場内）				
学校給食課	学校給食係	1 学校給食用物資の調達及び普及・奨励等		TEL (052) 671-1146 FAX (052) 671-6893

ii 施設

名古屋市のスポーツ施設等一覧（72～75 ページ参照）			
各事務所		1 施設の利用受付・許可 2 施設の利用に関する利用料金等徴収・還付 3 施設の保全管理 4 施設の利用促進・利用統計 5 事務所の所掌する文書・公印 6 事務所の所掌する経理 7 事務所の所掌する物品・資産の出納保管	

第3 令和4年度事業計画及び収支予算

I 事業計画

当協会は、昭和 58 年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してまいりました。その後平成 10 年 4 月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始するとともに、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」と改めました。また、平成 18 年 4 月には、財団法人名古屋市学校給食協会の統合により新たに学校給食事業を加えました。

平成 22 年 4 月からは、財団法人名古屋市体育協会との合併により、アマチュアスポーツの普及促進にも携わることとなり、「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、さらに幅広い事業を展開しているところです。

また、平成 25 年 4 月からは公益財団法人に移行し、「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更しました。

令和 4 年度は、指定管理施設 31 施設（スポーツ施設 18 施設、生涯学習センター 11 施設、青少年育成施設 2 施設）の管理運営事業をはじめ、スポーツ振興等に関する事業、受託するトワイライトスクール・ルーム 252 校の管理運営等の学校開放事業、野外教育事業、学校給食事業に取り組みます。

各事業では、3 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で事業運営を行うほか、新たに 2026 年に愛知・名古屋で開催される、第 20 回アジア競技大会に向け、市民の機運醸成を図る取り組みなどを進めていきます。

また、「第 4 次経営戦略計画」（計画期間：令和 2 年度～4 年度）の最終年度となることから、計画に定める経営戦略方針に基づき、より一層の経営改善に引き続き取り組み、最終数値目標の達成に努めます。

併せて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、名古屋市が令和 3 年度に創設した「名古屋市 SDGs 推進プラットフォーム」の会員として、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、引き続き、様々な取り組みを進めていきます。

（経営戦略方針）

- 公益財団法人としての公益性を維持しながら、安心・安全な事業運営を行い、「スポーツ」と「教育」の振興を促進する。
- 指定管理者制度の導入等による民間企業との競争の中、コスト削減や自主財源の確保・拡充による収益性の向上を図り、財務体質を強化する。
- 市民ニーズに基づき、スポーツを通じた市民の体力づくり、トワイライトスクール事業等を通じた子育て支援、生涯を通じた学習活動の支援などを他の機関や地域と連携・協働して推進する。
- 職員の資質向上を図るとともに、地域に貢献できる事業の実施を通じて、地域人材の活用と地域との連携を推進する。

以上の方針のもと、協会のこれまで培ってきたノウハウと職員の能力を十二分に活用して、次に掲げる事業を実施します。

記

- I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業
 - 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等
 - 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり
 - 3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力
 - 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供
 - 5 スポーツ功労者の表彰
 - 6 加盟団体相互の連携及び育成強化
 - 7 体育施設等の管理運営
 - 8 第20回アジア競技大会に向けた取組の推進
- II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業
- III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び名古屋市における競技力向上を担う優秀な審判員並びに指導者の養成・資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する審判員並びに指導者養成事業について補助を行う。

(2) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」と、ジュニア選手への検診や、選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」、ジュニア選手の運動能力などを測定・分析し、科学的知見を取り入れたトレーニング方法等の指導をする「テクニカルサポート事業」を行う。

(3) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行う。

(4) 学校部活動支援業務

中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行う。また、協会の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における交流戦等を開催する会場を優先的に確保・提供する支援を行う。

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市が策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行う。

(1) スポーツ教室等の開催

① 開催方針

スポーツ・レクリエーション活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握

に努めながら、名古屋市ジュニアスポーツ教室（※）を始め、子どもが多様なスポーツに接することのできる教室や高齢者がその健康状態や体力に応じて楽しめる教室、子育て世代・働く世代が参加しやすい教室の開催など、名古屋市の指定した開催方針に、次に挙げる協会独自の視点を加えて企画し、親子でふれあえる事業やトップアスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層を対象に多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催する。

※「名古屋市ジュニアスポーツ教室」とは、学校休業日を中心に小中学生を対象として実施する教室で、名古屋市が種目・開催場所を指定して行うもの。

【協会独自の視点】

- ・親子のふれあいを育む「親子スポーツ交流会」
- ・スポーツへの関心や興味を高める「アスリートふれあい事業」
- ・スポーツ施設営業拡大日や利用時間延長を活用してのスポーツ教室等の開催

② 内容

教室の種目や内容、対象等によって、年に3期の定期開催・年間にわたる定期開催型の「定期教室」と、大会・イベントや1回ごとに気軽に参加できる事業などの「随時・体験型」とに区分して開催する。

区 分		内 容		会 場
定期 教室	第1期	水泳教室始め	183 (2)教室	総合体育館始め 12 施設
	第2期	弓道教室始め	189 (5)教室	総合体育館始め 12 施設
	第3期	ソフトテニス教室始め	112 教室	総合体育館始め 12 施設
	通 年	ジュニア卓球教室始め	49 (8)教室	総合体育館始め 9 施設
計			533 (15)教室	総合体育館始め 12 施設
随時・体験型		エアロビクスストレスタイム始め	281 事業	総合体育館始め 12 施設

※ 表内（ ）は「名古屋市ジュニアスポーツ教室」で内数

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室（10 施設）において、トレーニング器具やビデオ装置などを活用し、健康・体力づくりを目的としたトレーニング指導事業を行う。初心者には安全で効果的なプログラム、継続者には体力、目的に合ったプログラム、高齢者には運動機能を維持向上させるようなプログラムなど、市民ニーズに応じた幅広いプログラムの提供を行う。

また、温水プール（10 施設）において、水泳、水中エクササイズ、水中ウォーキングなどのワンポイント的な指導事業を行う。

② スポーツ指導者派遣事業

保健所等地域の機関、団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等

へのスポーツ指導、各種スポーツ大会でのストレッチ指導などニーズに応じてスポーツ指導者を派遣し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の支援を行う。

また、派遣するスポーツ指導者の資質向上を目指し、健康運動指導士・スポーツプログラマーの資格取得を推進する。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施する。

相談区分	内 容	施設・回数	相談員
スポーツ医事	メディカルチェック及び運動負荷検査を行うことにより、健康状態を把握し、適切な運動強度の提供や生活習慣病の改善等について総合的なアドバイスを行う	総合体育館 年6回	内科医師
スポーツ障害	スポーツ活動にともなう怪我の予防、既往症等に対する安全な運動方法について、身体のしくみなどを中心にアドバイスを行う	総合体育館 年6回	整形外科医師
健康・体力づくり	健康・体力づくりについて、面談や相談カードを通じて日常的にアドバイスを行う	総合体育館始めトレーニング室を有する施設 随時	協会職員 (スポーツ プログラマー等)

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会や体験教室、スポーツ少年団の指導者・リーダーを対象とした研修会の開催や入団案内などを通じて、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動を支援し、スポーツ少年団の普及促進を図る。

3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行う。

(1) スポーツ大会等の開催

市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施し、日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりをする。

主な大会等予定一覧

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第 101 回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和4年 4月	稲永スポーツセンター他	小学生以上	名古屋市 名古屋市レクリエーション インディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
第 57 回 春の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和4年 5～6月	総合体育館他	市内在住 25 歳以上 の女性	名古屋市 名古屋市女性レクリエーション バレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
スポーツ体験 事業	有名選手やトップチーム等によるふれあい教室や公式戦観戦を通じスポーツ活動の活性化を目的とするスポーツイベント	令和4年 5月～ 令和5年 3月	市内スポーツ施設等	市内在住 小中学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋市小中体育連盟
なごや マスターズ 水泳大会2022	年齢30歳以上を対象に日頃の成果を発揮する場としての競泳競技会	令和4年 5月	総合体育館レインボープール	年齢30歳以上	名古屋市 名古屋市水泳連盟 中日新聞社
第 78 回 市民卓球大会	身近なスポーツである卓球を通して市民相互の友好と親睦を図る大会	令和4年 6月	名東スポーツセンター	市内在住 在勤 15歳以上	名古屋市卓球協会
ニチレイチャレンジ 2022 泳力検定 名古屋大会	水泳教室参加者始め、一般水泳愛好者を対象とした泳力検定会	令和4年 6月	総合体育館レインボープール	泳力検定 希望者	名古屋市水泳連盟
でらスポ☆ アリーナ	小学生を対象に名古屋を拠点に活動するトップスポーツチームの選手・コーチから直接指導を受けることにより、スポーツを始めるきっかけとなるようにするスポーツイベント	令和4年 6月	総合体育館	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
都市間交流 スポーツ大会	スポーツを通じて各都市 との交流促進を図り、選手 の競技力向上と生涯スポ ーツの普及を目的とした スポーツ大会	令和4年 6～7月	横浜市内 スポーツ施設	5都市対抗 (大阪・横浜・神戸・ 京都・名古屋)	5都市体育協会
市民スポーツ祭	市内各スポーツ施設等に おいて実施する多彩なス ポーツ大会	令和4年 8月 (一部の競技を除く)	市内スポーツ 施設等	区対抗の部 始め6部門	名古屋市 名古屋市小中体育連盟
第 57 回 秋の女性レクリ エーションバレ ーボール大会	女性を対象に、レクリエー ションバレーボールを通 じてスポーツ・レクリエー ション活動に親しむ機会 を提供し、体力の増強並び に相互の親睦と協調を図 る大会	令和4年 9～10月	総合体育館他	市内在住 25 歳以上 の女性	名古屋市 名古屋市女性レクリエーション バレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
子どもスポーツ フェスタ 夏	小学生対象の学校や地域 の仲間と気軽に参加でき るスポーツイベント	令和4年 9月	総合体育館他	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋市小中体育連盟
やろまい 運動・スポー ツ絵画コンテ スト 2022	小学生対象のスポーツに 関係した絵を題材とした コンテスト	(表彰) 令和4年 11月 (展示) 令和4年 12月頃～	スポーティブ・ ライフ月 間に 関する事業の スポーツイベ ント会場他	令和4年 8月～9月 (作品募集期間)	名古屋市 名古屋市教育委員会
第 102 回 レクリエーショ ンインディアカ 大会	レクリエーションインデ ィアカを通じてスポー ツ・レクリエーション活動 に親しむ機会を提供し、体 力の増強並びに相互の親 睦と協調を図る大会	令和4年 10～11月	稲永スポーツセ ンター他	小学生以上	名古屋市 名古屋市レクリエーション インディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
ス ポ ー テ ィ ブ・ライフ月 間事業	スポーツの日を中心とす る秋季に行うイベント事 業や各種のスポーツ普 及・啓発事業	令和4年 10～11月	総合体育館他	期間中 自由参加 (一部事前 申込有)	名古屋市
	名古屋を拠点に活動して いるトップチームの指導 による「でらスポ☆スタジ アム」をはじめとする各種 スポーツイベント	令和4年 11月	瑞穂運動場		

スポーツ 講演会	地元ゆかりの代表選手等 による講演会	令和4年 11月	スポーツ・ ライフ月間に 関する事業の スポーツイベン ト会場	自由参加	名古屋市
なごやカップ ミニ駅伝大会 2022	職場やサークル仲間等と 気軽に参加できる駅伝大会	令和4年 12月	瑞穂運動場及 びその周辺	小学生以上 (5人1チーム)	名古屋市
子どもスポーツ フェスタ 冬	小学生対象の学校や地域の 仲間と気軽に参加できる スポーツイベント	令和5年 1月	総合体育館他	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋市小中体育連盟
ファミリーデー なごや	「家庭の日」の普及啓発を 推進するイベントにおいて、 親子を対象にスポーツの 楽しさや親子ふれあいを 図るためのブース等を出展	令和5年 1月	総合体育館	市内在住 小学生と 家族	名古屋市 名古屋市教育委員会
なごやマスターズ レクリエーション バレーボール大会 2023	生涯スポーツの実践として 57歳以上が参加する大会	令和5年 2月	市内スポーツ 施設	150人 (年齢57 歳以上)	名古屋市
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2023	名古屋ウィメンズマラソン と名古屋シティマラソンを 併催し、エリートランナー から市民ランナーまで目的 や体力等に応じて参加でき るマラソン大会	令和5年 3月	ナゴヤドーム、 白川公園、瑞穂 運動場及びその 周辺	国内・外 ランナー 35,000人	日本陸上競技連盟 愛知県・名古屋市 中日新聞社

(2) スポーツ・レクリエーション活動への後援

加盟団体並びに名古屋市内に活動の拠点を置くスポーツ・レクリエーション団体が開催する各種大会や競技会等に対し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の健全な発展を援助することを目的に後援する。

(3) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に設立された「名古屋スポーツコミッション」に正会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援、スポーツと文化・観光を掛け合わせたスポーツツーリズムの推進等に協力する。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施する。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者の安全・安心・快適に配慮し、より親しまれる施設を目指す。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライスポーツ」及び「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行う。

② ホームページの運用

ホームページにて、各事業の取組みや募集案内等について、情報提供を行う。各施設の特性や出来事についてはブログを活用するとともに、NESPA YouTubeチャンネルにおいては、事業等の様子が一目で分かる動画配信を行うなど、協会の取組みを広く発信し、集客に努める。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

スポーツ教室等の受講者募集や施設の休場、イベントなどのスポーツ情報をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、登録者に対して、定期・不定期にメールマガジンを発行する。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会の事業等について、フェイスブックやツイッターなどSNSの特性を活かした情報提供を行う。

⑤ 各施設における広報

各種の教室やイベントなど、耳よりな情報を満載した施設だよりを発行するほか、ロビー等にてデジタルサイネージでの事業PRや、スポーツ情報コーナーの活用、名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会（愛称：でらスポ名古屋）のコーナーを設けるなど様々な情報を発信する。

⑥ スポーツ資料展示室の運営（スポーツ振興会館2階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、本市で行うスポーツイベントや、話題性のあるスポーツに関する資料を収集し、常設展及び企画展を行う。

⑦ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館1階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じるほか、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立てるため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供する。

5 スポーツ功労者の表彰

地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営及び事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰する。

区 分	内 容
表彰の対象	(1) 地域スポーツ及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの (2) 選手育成及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの
表彰の時期	令和4年11月

なお、競技会等で優秀な成績を収めた選手については、名古屋市スポーツ功労者表彰において名古屋市とともに表彰する。

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

加盟団体が主催・主管する各種大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催し、意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与する。

7 体育施設等の管理運営

(1) 管理運営の方針

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、体育施設等20施設の管理運営を行う。施設管理にあたっては、利用者本位の安全・安心・快適な運営に努める。

さらに、市民のスポーツ施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツの機会等を増大させ、より親しみやすく開かれた施設を目指す。なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の2者で実施する。

また、青少年交流プラザでは本館・分館を一体的に管理し、設置目的（社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図ること）並びに青少年のニーズに沿った事業運営に取り組む。なお、青少年交流プラザの管理運営は、協会、「NPO法人ICDS」、「特定非営利活動法人子ども&まちネット」の3者で実施する。

(2) 目標利用者数

施設名	指定管理期間	目標 利用者数	(内数)	
			トレーニング室	温水プール
総合体育館 ※1	平成28年度～令和4年度 ※2	1,458,000	53,200	118,100
瑞穂運動場 ※1	平成30年度～令和4年度	904,000	86,900	29,900
露橋スポーツセンター	平成28年度～令和4年度 ※2	200,000	64,100	28,000
枇杷島スポーツセンター	平成30年度～令和6年度 ※2	207,000	57,200	38,600
稲永スポーツセンター	平成28年度～令和4年度 ※2	194,000	67,600	—
北スポーツセンター	平成28年度～令和4年度 ※2	204,000	63,700	65,800
中村スポーツセンター	平成30年度～令和6年度 ※2	287,000	80,800	70,600
名東スポーツセンター	平成30年度～令和6年度 ※2	257,000	64,900	62,600
南陽プール	平成30年度～令和4年度 ※2	76,000	29,600	38,700
山田西プール	平成30年度～令和6年度 ※2	38,000	—	42,200
富田北プール	平成30年度～令和6年度 ※2	76,000	—	65,500
黒川スポーツトレーニングセンター	平成30年度～令和4年度 ※2	92,000	71,700	—
港サッカー場	平成28年度～令和4年度 ※2	32,600	—	—
港プール	平成28年度～令和4年度 ※2	10,100	—	—
中川プール	平成30年度～令和6年度 ※2	3,200	—	—
楠プール	平成28年度～令和4年度 ※2	3,600	—	—
山田プール	平成30年度～令和6年度 ※2	4,800	—	—
富田プール	平成28年度～令和4年度 ※2	4,300	—	—
計		4,051,600	639,700	560,000

施 設 名		指定管理期間	目標利用者数
青少年交流プラザ	本館	平成 29 年度～令和 4 年度 ※2	142, 900
	分館(青少年宿泊センター)		43, 300
計			186, 200

注：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、平成30年度から過去3年度遡った（平成30～28年度）実績平均に係数を乗じた数値や施設の工事休場見込みなどを踏まえ設定

※1 令和4年度中休場する施設（総合体育館 第2競技場、瑞穂運動場 陸上競技場）

※2 指定管理期間が2年間延長された施設（総合体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、楠プール、山田プール、富田プール、青少年交流プラザ 本館・分館）

8 第20回アジア競技大会に向けた取組の推進

2026年に愛知・名古屋で開催される、「第20回アジア競技大会」に向けて、子どもたちを中心に競技力の向上を図るとともに、市民の機運醸成を図るため、様々な取組みを推進する。

(1) なごやジュニアアスリート応援基金によるアスリートの支援

アジア競技大会での活躍を目指す子どもたちを支援するため、「なごやジュニアアスリート応援基金」を設立し、広く市民等から寄付金を募り、ジュニアアスリートの育成にかかる経費を助成する。

(2) アジア競技大会の競技種目の体験会等の実施

協会主催のイベントや協会管理施設において、アジア競技大会に関係する種目の紹介や体験会などを実施し、普及啓発及び機運醸成を図る。

Ⅱ 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

小学校において、地域で子どもを育てる環境を充実するため、放課後や週末などに子どもたちに遊びや学び、体験活動をさせる放課後学級を行う。令和4年度は前年度の実施校から2校がトワイライトルームへ移行されることにより、202校について運営を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
※ 202 校	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通じた異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・放課後学級ルーム ・体育館及び運動場等

※受託期間 令和4年度まで：55校、令和6年度まで：46校、令和7年度まで：53校、令和8年度まで：48校

(1) 活動方針

① トワイライトスクールとしての機能拡充

事業内容の充実・活性化を図る。とりわけ、地域の人的・物的資源を生かした特色ある活動や、学生ボランティアをより活用するなどして、子どもたちが学習に興味・関心をもつことができるような「学びの活動」などを実施する。

② 世代間交流事業の展開と体験活動の充実

土曜日を中心とした地域住民との交流や親子参加型の体験活動、地域行事との連携など世代間交流事業の展開を図る。

また、子どもたちの一層の参加を促し、豊富な体験ができるよう、運営指導者や地域協力員の資質向上のための研修を行うとともに、学生ボランティアなどの若い世代の協力による体験活動や、名古屋市科学館、でんきの科学館、名古屋サッカー協会などの協力による特別な体験活動を実施することにより、体験活動の充実を図る。

③ 学校との連携強化

参加児童の安全確保をはじめ体育館・運動場など様々な学校施設の一層の活用を図るため、学校との相互理解をすすめて、連携強化に努める。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクールが行っている「自主性、社会性、創造性を育む教育的な役割」と、「留守家庭等の子どもが安心やくつろぎを感じて過ごすことができるようにする子育て支援等としての役割」の双方を併せ持つ事業を小学校施設内において一体的に実施する。令和4年度は前年度の実施校から2校が他団体の運営に移管し、2校がトワイライトスクールから移行されるため、50校について運営を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
※ 50 校	すべての子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取組みを行う。 また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・ライフルーム（生活面を重視した部屋） ・プレイルーム（活動を重視した部屋） ・体育館及び運動場等

※受託期間 令和4年度まで：15校、令和6年度まで：14校、令和7年度まで：11校、令和8年度まで：10校

3 生涯学習センター

(1) 施設の管理運営

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター11施設（千種・北・西・中村・中・昭和・瑞穂・熱田・港・南・名東）を管理運営する。

(2) 管理運営方針

安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行う。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努め、生涯を通じた学習活動を支援する。

また、自主学習グループ等との連携により、趣味・教養、食・運動など市民ニーズが高い講座を実施する。

(3) 目標利用者数

施 設 名	指定管理期間	目標利用者数
千種生涯学習センター	令和2年度～6年度	76,400
北生涯学習センター	令和2年度～6年度	71,100
西生涯学習センター	令和2年度～6年度	67,800
中村生涯学習センター	平成30年度～令和4年度 ※1	73,600
中生涯学習センター	令和2年度～6年度	67,300
昭和生涯学習センター	令和2年度～6年度	50,800

施設名	指定管理期間	目標利用者数
瑞穂生涯学習センター	令和2年度～6年度	71,900
熱田生涯学習センター	平成30年度～令和4年度 ※1	54,400
港生涯学習センター	平成30年度～令和4年度 ※1	43,800
南生涯学習センター	平成30年度～令和4年度 ※1	67,300
名東生涯学習センター	平成30年度～令和4年度 ※1	68,800
計		713,200

注：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、平成30年度から過去3年度遡った（平成30～28年度）実績平均に係数を乗じた数値や施設の工事休場見込みなどを踏まえ設定

※1 指定管理期間が1年間延長された施設（中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター、名東生涯学習センター）

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、小学校27校で体育館、運動場、特別活動室、音楽室、図書室、プール等を開放する事業を実施する。

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるよう、次の事業を行う。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を行う。

区分	校数	参加予定人数	対象	場所
小学校	262	19,724	5年生	名古屋市中津川 野外教育センター
特別支援学校	4	485	小学部5年生 中学部2年生 高等部2年生	
中学校	110	17,792	2年生	
計	376	38,001		名古屋市中津川 野外教育センター

※ 実施時期 令和4年4月25日（月）～11月1日（火）

※ 参加予定人数には、引率者・保護者等を含む。

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、テント設営地の整備、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣する。

※ 派遣期間 令和4年7月21日（木）～8月30日（火）

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を行う。また、科学教室の中で、小・中学生とその保護者を対象にした親子教室を行う。

区 分	コース数	募集人数	時 期	活 動 場 所
野外観察	18 自然の部15 社会の部 3 (親子教室 16 を含む)	608	7・8・12 月	鳳来寺、伊吹山、 ひるがの、瑞浪、赤坂、 高座山、栗代鉦山、 師崎、長浜、郡上八幡、 セントレア、中津川
プログラミング	8 (親子教室 4 を含む)	240	7・8 月	小学校、 スポーツ振興会館
製作・実験	11 (親子教室 5 を含む)	328	8 月	小・中学校 スポーツ振興会館
計	37	1,176		

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行う。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
小学校(国立学校1校含む)	263校
特別支援学校、鳴海中学校	6校
その他※	1施設

※稲武野外教育センターは一部の物資を取扱い

※上表のほか中学校の牛乳代金の授受に関する事務

(2) 学校給食用物資の購入

- ① 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき、安価で良質な物資を、年間・学期・月などの契約単位で調達する。
- ② 学校給食用物資及び納入業者については、学校給食用物資委員会での審査を経て登録する。
- ③ 地産地消を推進し、身近な食材について理解を深めるため、名古屋市内産及び愛知県内産の野菜や加工品の活用を積極的に進める。
- ④ 食の安全への配慮から、購入物資におけるアレルギー物質や食品添加物の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供する。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資を各学校へ早朝輸送する。また輸送の実態を調査し、必要に応じて輸送業者の指導を行う。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について事業所を实地調査し、食品及び環境の衛生管理について指導を行う。

登録業者を対象に、衛生管理指導会を年2回開催し、食品の安全衛生についての知識、意識を高める。

学校給食用物資の安全性や品質の確保を図るため、細菌検査や、残留農薬・放射性物質などの理化学検査を実施する。

2 給食を通じた食育の推進

(1) 給食新聞の発行

新しい献立等の紹介や、給食に対する児童・保護者の声を掲載する「給食新聞」を、年2回全保護者対象に発行する。

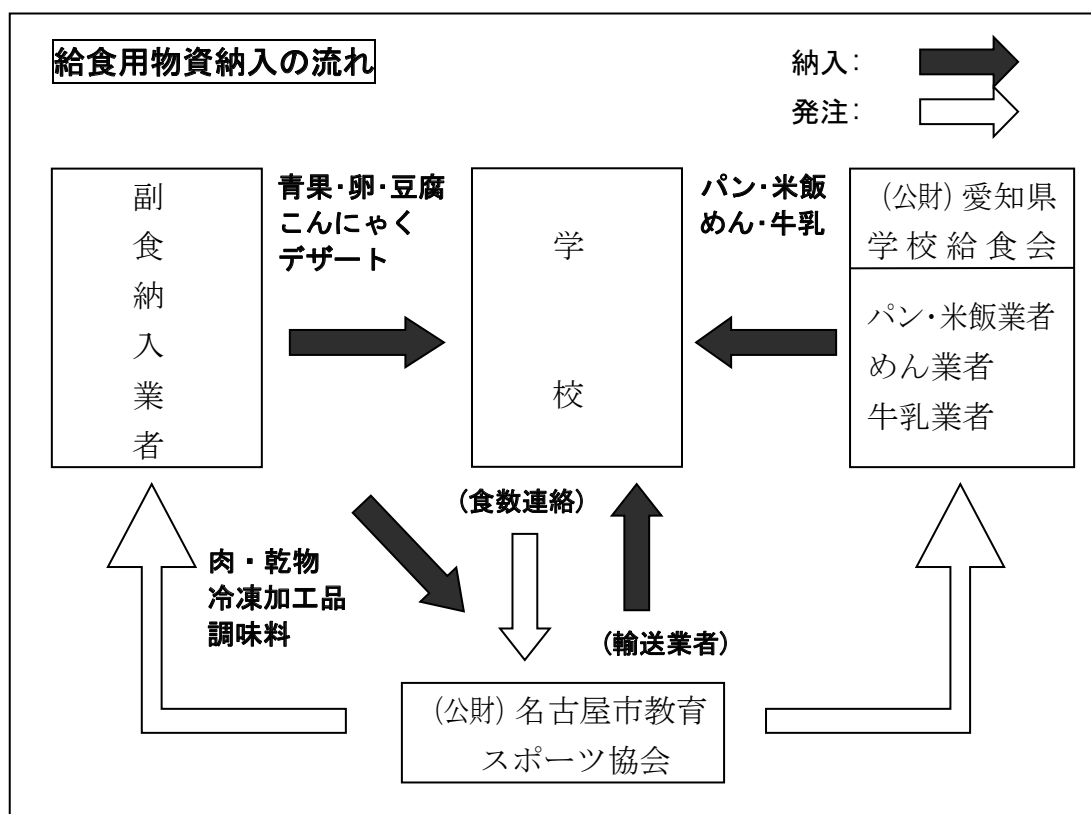
(2) 「食」に関する啓発事業

「給食かるた」を使ったかるたとりをトワイライトスクールで行うほか、小学校等へ「給食かるた」の貸出を行う。また、「子ども料理教室」を小学校で、「親子料理教室」を生涯学習センターで開催するとともに、「デジタル料理教室」をホームページで配信するなど、「食」への関心を深める事業の実施に取り組む。

(3) 各学校で実施される試食会への参加

学校給食への理解を深めるため、保護者対象の試食会において、物資調達業務についての解説を行うとともに試食会用食器の貸出を行う。

<参考>



Ⅱ 収支予算

収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	297	297	0
(2)特定資産運用益	304	209	95
(3)受取会費	5,264	5,349	△85
(4)受取受託金	2,912,519	2,736,378	176,141
(5)受取指定管理料	2,054,253	2,308,779	△254,526
(6)受取利用料金	1,294,402	962,457	331,945
(7)事業収益	6,590,248	6,645,883	△55,635
(8)受取補助金等	226,261	225,558	703
(9)受取負担金	13,982	15,758	△1,776
(10)受取寄附金	2,000	0	2,000
(11)雑収益	11,844	8,662	3,182
経常収益 計	13,111,374	12,909,330	202,044
②経常費用			
(1)事業費	13,073,805	12,935,155	138,650
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,467,914	3,425,052	42,862
競技スポーツ事業費	64,770	70,012	△5,242
学校開放事業費	2,886,671	2,743,596	143,075
野外教育事業費	239,369	242,781	△3,412
学校給食事業費	6,309,231	6,366,643	△57,412
退職給付費用	37,200	14,546	22,654
賞与給付費用	68,650	72,525	△3,875
(2)管理費	37,569	30,351	7,218
事務局費	37,410	30,241	7,169
退職給付費用	75	24	51
賞与給付費用	84	86	△2
経常費用 計	13,111,374	12,965,506	145,868
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△56,176	56,176
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	0	△56,176	56,176
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
②経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△56,176	56,176
一般正味財産期首残高	867,773	1,029,672	△161,899
一般正味財産期末残高	867,773	973,496	△105,723
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	297	297	0
一般正味財産への振替額	△297	△297	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000	120,000	0
指定正味財産期末残高	120,000	120,000	0
III 正味財産期末残高	987,773	1,093,496	△105,723

収支予算書内訳書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公1	公2	公3	公共通	小計	収益	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①経常収益								
(1)基本財産運用益	0	0	0	297	297	0	0	297
(2)特定資産運用益	304	0	0	0	304	0	0	304
(3)受取会費	5,264	0	0	0	5,264	0	0	5,264
(4)受取受託金	11,244	2,897,587	0	0	2,908,831	3,688	0	2,912,519
(5)受取指定管理料	1,463,666	385,048	0	0	1,848,714	205,539	0	2,054,253
(6)受取利用料金	758,062	113,322	0	0	871,384	423,018	0	1,294,402
(7)事業収益	138,773	209,085	6,228,996	0	6,576,854	13,394	0	6,590,248
(8)受取補助金等	111,092	37,920	77,249	0	226,261	0	0	226,261
(9)受取負担金	13,982	0	0	0	13,982	0	0	13,982
(10)受取寄附金	2,000	0	0	0	2,000	0	0	2,000
(11)雑収益	2,870	0	1,359	0	4,229	526	7,089	11,844
経常収益 計	2,507,257	3,642,962	6,307,604	297	12,458,120	646,165	7,089	13,111,374
②経常費用								
(1)事業費	2,649,122	3,649,712	6,316,929	0	12,615,763	458,042	0	13,073,805
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,526,603	495,542		0	3,022,145	445,769	0	3,467,914
競技スポーツ事業費	64,770	0		0	64,770	0	0	64,770
学校開放事業費	0	2,886,671	0	0	2,886,671	0	0	2,886,671
野外教育事業費	0	239,369	0	0	239,369	0	0	239,369
学校給食事業費	0	0	6,309,231	0	6,309,231	0	0	6,309,231
退職給付費用	20,902	9,220	3,165	0	33,287	3,913	0	37,200
賞与給付費用	36,847	18,910	4,533	0	60,290	8,360	0	68,650
(2)管理費	0	0	0	0	0	0	37,569	37,569
事務局費	0	0	0	0	0	0	37,410	37,410
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	75	75
賞与給付費用	0	0	0	0	0	0	84	84
経常費用 計	2,649,122	3,649,712	6,316,929	0	12,615,763	458,042	37,569	13,111,374
評価損益等調整前当期経常増減額	△141,865	△6,750	△9,325	297	△157,643	188,123	△30,480	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△141,865	△6,750	△9,325	297	△157,643	188,123	△30,480	0
2 経常外増減の部								
①経常外収益								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
②経常外費用								
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	141,865	6,750	9,325	0	157,940	△157,940	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	297	297	30,183	△30,480	0
一般正味財産期首残高	△122,652	△78,646	△35,647	6,708	△230,237	597,415	500,595	867,773
一般正味財産期末残高	△122,652	△78,646	△35,647	7,005	△229,940	627,598	470,115	867,773
II 指定正味財産増減の部								
①基本財産運用益	0	0	0	297	297	0	0	297
一般正味財産への振替額	0	0	0	△297	△297	0	0	△297
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
III 正味財産期末残高	△122,652	△78,646	△35,647	127,005	△109,940	627,598	470,115	987,773

(注) 公1: 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業

公2: 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業

公3: 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発達と豊かな食生活を実現する事業

収益: 管理している施設を公益目的以外の事業で貸与する事業

第4 令和3年度事業報告及び収支決算

I 事業報告

当協会は、昭和58年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してきた。

その後平成10年4月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始するとともに、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」と改めた。

また、平成18年4月には、財団法人名古屋市学校給食協会の統合により新たに学校給食事業を加えた。

平成22年4月からは、財団法人名古屋市体育協会との合併により、アマチュアスポーツの普及促進にも携わることとなり、「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、幅広く事業を展開した。

平成25年4月からは公益財団法人に移行し、「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更した。

令和3年度は「第4次経営戦略計画」（令和2年3月策定。計画期間：令和2～令和4年度）に定める経営戦略方針に基づき、公益性・財務体質の強化・他機関等との連携・地域貢献などの観点から一層の経営改善に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部、十分な結果が得られなかった。

また、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、名古屋市が令和3年度に創設した「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」の会員となり、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、様々な取組みを進めた。

競技者の競技力強化や指導者・審判員の養成事業等については、名古屋市体育協会における事業をもとに、各競技団体が実施するジュニア競技力向上事業や審判員・指導者の養成事業に補助を行う等、引き続き積極的に取り組んだ。

また、2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」に向けて、子どもたちの競技力の向上及び市民の機運醸成を図るため「なごやジュニアアスリート応援基金」を設立した。

スポーツ教室及びスポーツ大会の開催等については、名古屋市スポーツ推進計画に沿い、子育て世代を対象とした教室やトップアスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層の方々が気軽に楽しく参加できるよう準備を進めたものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度に引き続き一部開催の中止等を余儀なくされた。

また、スポーツ活動を行う方々を支援するため、スポーツ功労者の表彰や加盟競技団体の活動の後援・助成を行った。

体育施設等については、名古屋市の指定管理者として管理する施設において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定期間、時短営業となったが、感染対策を講じるなど、市民・利用者にとって「安全・安心・快適」な管理を行った。

トワイライトスクール事業については、204校において実施し、円滑な運営に努めるとともに、魅力ある事業展開の一層の充実を図った。また、トワイライトルーム事業についても50校において実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況下においては、名古屋市や学校等と連携しながら、感染拡大防止対策を講じて事業を運営した。

野外教育事業については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業を中止し、科学教育事業については、コースを中止・変更して実施した。

また、学校給食事業については、学校給食の円滑な実施に寄与するため、物資の調達や食育の推進に係る事業を実施した。

本報告書は、令和3年度に実施した事業について、次記の区分に従いその詳細を報告するものである。

記

- I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業**
 - 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等**
 - 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり**
 - 3 スポーツ大会及び講習会の開催及び協力**
 - 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供**
 - 5 スポーツ功労者の表彰**
 - 6 加盟団体相互の連携及び育成強化**
 - 7 体育施設等の管理運営**
- II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業**
- III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業**
- IV 理事会・評議員会の開催**
- V その他**

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び競技力向上を担う優秀な審判員並びに指導者の養成及び資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する審判員並びに指導者養成事業について補助を行った。

事業実施競技団体	参加者数	会 場 等
陸上競技協会始め 31 競技団体	4,652 人	瑞穂運動場 他

(2) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」として 337 人に助成するとともに、名古屋市や名古屋市立大学と連携し、ジュニア選手への検診や、選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」を 3 日間行った。

(3) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

例年、愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が中止となった。

(4) 小中学校部活動支援事業

小・中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行った。また、協会管理施設の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における交流戦等を開催する会場を優先的に確保・提供する支援を行った。

区分	小学校	中学校	参加者数
指導者派遣（2 件）	1 校	1 校	58 人
交流戦会場提供（3 件）		7 校	146 人

(5) なごやジュニアアスリート応援基金の設立

2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」での活躍を目指す子どもたちを支援するため「なごやジュニアアスリート応援基金」を設立し、広く市民からの寄附金の募集を開始した。

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市の策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行った。

(1) スポーツ教室等の開催

幅広い年齢層を対象に、スポーツ活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握に努めながら多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催した。

区 分		内 容	受講者数	会 場
定期 教室	第1期	小学生水泳教室始め 182 (2)教室	4,131 人	総合体育館始め 13 施設
	第2期	弓道教室始め 201 (5)教室	4,300 人	総合体育館始め 13 施設
	第3期	軽スポーツ教室始め 128 教室	3,069 人	総合体育館始め 13 施設
	通 年	ジュニア卓球教室始め 27 (7)教室	700 人	総合体育館始め 8 施設
計		538 (14)教室	12,200 人	総合体育館始め 13 施設
随時・体験型		エアロビクスストレスタイム始め 245 事業	35,604 人	総合体育館始め 13 施設

※ 表内 () は「名古屋市ジュニアスポーツ教室」で内数

※ 随時・体験型の受講者数は延べ数

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室 (10 施設) 個人利用者 579,036 人のうち、延べ 24,670 人に対して新規指導やベーシック、カウンセリングコース指導など、健康・体力づくりを目的としたプログラム指導を行った。

また、温水プール (10 施設) 個人利用者 427,152 人のうち、延べ 5,514 人に対して泳法やウォーキング法などの水中運動に関するワンポイントアドバイスをを行った。

② スポーツ指導者派遣事業

保健所等地域の機関や団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等へのスポーツ指導など、ニーズに応じてスポーツ指導者を延べ 68 名派遣し、延べ 1,123 人に指導を行った。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施した。

区 分	実施会場	回数	相談員	相談者数
スポーツ 医事相談	総合体育館	6 回	内科医師	18 人
スポーツ 障害相談	総合体育館	6 回	整形外科医師	18 人
健康体力 づくり相談	総合体育館始め 13 施設	随時	施設職員 (スポーツプロ グラマー等)	カード相談 26 人 窓口相談12,354 人

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会や体験教室、スポーツ少年団の指導者・リーダー・保護者を対象とした事業の開催などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止した。

なお、例年通り、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動への支援は継続して行い、スポーツ少年団の普及促進を図った。

3 スポーツ大会及び講習会の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行った。

(1) スポーツ大会等の開催

日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりとして市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約半数の大会が中止となった。その中でも、スポーティブ・ライフ月間等イベントやマラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2022など一部のイベントについては、基本的な感染防止対策のほか、参加定員や観覧者数の抑制、会場内導線の工夫等により開催することができた。

大会名	開催日	参加者数等	会場等
第 99 回レクリエーション インディアカ大会	4月11日（日） ～25日（日）	354人	稲永スポーツセン ター他
第 77 回市民卓球選手権大会	4月18日（日）	303人	総合体育館
第 56 回春の女性レクリエーシ ョンバレーボール大会	5月12日（水） ～6月8日（火）	中止	総合体育館他

大会名		開催日	参加者数等	会場等
なごやマスターズ水泳大会2021		5月23日（日）	中止	総合体育館レインボープール
第 17 回都市間交流スポーツ名古屋大会		6月5日（土） ～7月11日（日）	中止	市内各競技会場
でらスポ☆アリーナ		6月12日（土）	中止	総合体育館
第 63 回市民スポーツ祭		6月19日（土） ～2月24日（木）	14, 226人	総合体育館他
ニチレイチャレンジ 泳力検定会 2021 名古屋大会		6月20日（日）	415人	総合体育館 レインボープール
やろまい運動・スポーツ絵画コンテスト 2021		8月17日（火） ～2月28日（月）	813人 813点	スポーツ資料展示 室他
スポーツ体験事業		8月18日（水） ～2月19日（土）	252人	日本ガイシアリー ナ（アイスリンク） 他
子どもスポーツフェスタ・夏		9月4日・11日（土）	中止	総合体育館 50m温水プール他
第 56 回秋の女性レクリエーション バレーボール大会		9月8日（水） ～10月5日（火）	中止	総合体育館他
スポーティ ブ・ライフ 月間等イベ ント	施設イベント	10月1日（金） ～11月30日（火）	10, 800人	市内各スポーツ施設
	はじめよう！つづけ よう！スポーティ ブ・ライフ in 瑞穂	11月23日（火・祝）	6, 860人	瑞穂運動場
第 100 回レクリエーション インディアカ大会		10月24日（日） ～11月7日（日）	414人	稲永スポーツセン ター他
スポーツ講演会		11月23日（火・祝）	100人	瑞穂運動場
ファミリーデーなごや		1月8日（土）	中止	総合体育館他（オ ンライン）
子どもスポーツフェスタ・冬		1月15日（土）	中止	総合体育館他
なごやカップミニ駅伝大会2022		1月22日（土）	中止	瑞穂運動場 及びその周辺

大会名	開催日	参加者数等	会場等
なごやマスタース レクリエーションバレーボール 大会 2022	2月24日（木）	中止	総合体育館 第2競技場
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2022	3月11日（金） ～13日（日）	ウィメンズ 8,698人 シティマラソン7,476人 ホイルチェア 10人 オンライン 8,917人	バンテリンドーム ナゴヤ他

(2) スポーツ・レクリエーション活動への後援

「第35回全日本小学生男子ソフトボール大会名古屋市予選会」を始めとしたスポーツ大会等70事業を後援した。

(3) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に令和3年度に設立された「名古屋スポーツコミッション」に正会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援に協力した。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施した。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者ニーズを反映し接遇の向上に努め、より親しまれる施設運営を行った。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライ・スポーツ」、「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行った。

② ホームページの運用

施設概要、事業、講座・教室などの案内のほか、プールコース割案内や駐車場の利用状況、ランニングコースの使用可否状況をお知らせしたり、ブログを活用し、施設の出来事などの情報発信に努めた。また、NESPA YouTubeチャンネルでは、新規に「デジタル料理教室」の配信を行った。なお、3月に誰もが使いやすくなるよう、ホームページをリニューアルした。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

スポーツ教室等の受講者募集や施設の休場、イベントなどのスポーツ情報をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、月2回、登録者に対して、メールマガジンを配信した。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会からの情報等について、フェイスブックやツイッターなどSNSの特性を活かした情報提供を行った。

⑤ 各施設における広報

各種教室やイベント、施設からのお知らせなどを記事にした施設だよりを発行したほか、ロビーに設置したデジタルサイネージやスポーツ情報コーナーの活用、また、近隣の施設や名古屋のトップスポーツチームのコーナーを設けるなど、身近な情報を様々な媒体で発信した。

⑥ 大規模大会のPR

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への市民の機運醸成を図るため、7月から両大会へ出場する名古屋市出身の選手を紹介する展示や選手への応援メッセージコーナーを協会管理のスポーツ施設等へ設置した。

また、第20回アジア競技大会に向けては、協会管理のスポーツ施設にのぼりやパネルなどにより、啓発するブースを設置した。

併せて、オリンピックやアジア競技大会の種目を体験するイベント等を開催した。

⑦ スポーツ資料展示室の企画展の開催（スポーツ振興会館2階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、7月から9月に東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した「応援企画！名古屋市出身スポーツ選手」「感動をありがとう！名古屋市出身のアスリート」の企画展示、11月から12月に「～過去から未来へ！～思い出のパロマ瑞穂スタジアム展」、12月から2月に「やろまい運動・スポーツ絵画コンテスト入賞作品展」、2月から3月に「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2022展」を開催した。

⑧ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館1階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じた。また、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立てるため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年度に引き続き閲覧を中止した。

5 スポーツ功労者の表彰

競技会等で優秀な成績を収めた選手や地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営並びに事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰した。

区 分	内 容	被表彰者数
表彰の対象	①名古屋市スポーツ功労賞において「スポーツ奨励賞」を受賞するもの	203 人
	②名古屋市スポーツ功労賞において「生涯スポーツ奨励賞」を受賞するもの	該当者なし
	③地域スポーツの発展及び選手育成のために顕著な功労のあったもの	44 人
表彰式	3 月 24 日（木）名古屋市公館（上記①及び②） 11 月 23 日（火・祝）瑞穂運動場（上記③）	

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

「第 30 回名古屋市ラグビー祭」始め加盟団体が主催・主管する 35 大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催して意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与した。

7 体育施設等の管理運営

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、令和3年6月26日に新規開館した瑞穂公園体育館（瑞穂運動場内）を始め体育施設等20施設の管理運営を行った。施設管理にあたっては、利用者本位の安全・安心・快適な運営に努めた。さらに、市民の体育施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツ機会等を増大させ、より親しみやすく開かれた施設運営を行った。

新型コロナウイルス感染防止に対する取組みとして、安全・安心にご利用いただけるよう、利用者の健康チェックの他、消毒や換気の実施、定員の見直しなどを行った。

なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の2者で実施した。

また、青少年交流プラザでは本館・分館を一体的に管理し、設置目的（社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図ること）並びに青少年のニーズに沿った事業運営に取り組んだ。なお、青少年交流プラザの管理運営は、協会、「NPO 法人ICDS」、「特定非営利活動法人子ども&まちネット」の3者で実施した。

Ⅱ 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

トワイライトスクールは、子どもたちの遊びや学び、体験、地域の人々の知識や経験を生かした世代間交流、生涯学習の振興、子育て支援、高齢者の生きがいづくりなどを図ることを目的とする。

(1) 事業内容

事業名	趣 旨	内 容 等
トワイライト スクール	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通じた異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通して、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの希望する児童 ②活動場所 放課後学級ルーム、体育館、運動場など

※受託期間 令和3年度まで:48校、令和4年度まで:55校、令和6年度まで:47校、令和7年度まで:54校

(2) 実施校数

放課後学級実施校	放課後学級・生涯学習開放 並行実施校	合 計
179校	25校	204校

(3) 実 績

ア 活動内容

子どもたちの自主的な遊びや学習活動のほか、愛知教育大学、椋山女学園大学、名古屋女子大学などの学生、保護者、高齢者等の幅広いボランティアの協力により、体験活動や学びの活動など様々な活動を行った。

さらには、子どもたちの体験活動をより豊富にするために、名古屋サッカー協会、名古屋市科学館、でんきの科学館等の協力を得るとともに、「トワイライト交流」「地域ふれあいサタデー」などへの参加を通して地域との交流、学校間の交流を促進した。

また、換気、消毒、日常の健康管理、身体的距離の確保、子どもたちの心のケアなど、トワイライトにおいて留意すべき事項をまとめたガイドラインを作成し、コロナ禍においても、感染症対策をしたうえで運営が継続できるようにするとともに、活動の充実を図り、児童図書、おもちゃ、運動用具を配布するなど、トワイライト

のリフレッシュを行った。

イ 参加状況

申込状況			参加状況		
在籍児童数	参加申込数	申込割合	日数	参加者数	1日平均
83,173人	35,281人	42.4%	58,352日	1,479,495人	25.4人

ウ 学びの活動

子どもたちが学習習慣を身につける一助として、日常的に学校で学んだことの復習や読書などに取り組む学習活動を全校で実施した。

また、子どもたちの学習意欲を高める活動として、専門員や学生ボランティア等により、ゲーム感覚で楽しみながら学習に興味・関心を持つことができる活動も行った。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクール事業を基盤に、就労等により昼間保護者が家庭にいない児童に対し、より生活に配慮した事業を一体的に実施することで、子どもたちが豊かで健やかに放課後を過ごすことができることを目的とする。

(1) 事業内容

事業名	趣 旨	内 容 等
トワイライト ルーム	子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに、昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取組を行う。 また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ライフルーム (生活面を重視した部屋) プレイルーム (活動を重視した部屋) 体育館及び運動場等

※受託期間 令和3年度まで：12校、令和4年度まで：15校、令和6年度まで：13校、令和7年度まで：10校

(2) 実施校数 50 校

区 名	名 称	区 名	名 称	区 名	名 称	区 名	名 称
千種区	富士見台	中村区	ほのか	港 区	小 碓	緑 区	黒 石
東 区	山 吹	中 区	大 須	港 区	南 陽	緑 区	南 陵
東 区	葵	中 区	正 木	港 区	稲 永	緑 区	大高北
東 区	砂田橋	昭和区	松 栄	南 区	笠 寺	緑 区	小 坂
北 区	名 北	昭和区	広 路	南 区	菊 住	名東区	藤が丘
北 区	金 城	瑞穂区	弥 富	守山区	小 幡	名東区	香 流
北 区	宮 前	瑞穂区	高 田	守山区	守 山	名東区	梅森坂
西 区	児 玉	熱田区	高 蔵	守山区	志段味西	天白区	天 白
西 区	平 田	熱田区	船 方	守山区	天子田	天白区	平 針
西 区	なごや	熱田区	大 宝	守山区	小幡北	天白区	大 坪
中村区	牧 野	中川区	八 幡	緑 区	鳴海東部	天白区	植田東
中村区	岩 塚	中川区	戸 田	緑 区	有 松		
中村区	八 社	中川区	千音寺	緑 区	戸 笠		

※ 生涯学習開放並行実施校 2 校を含む

(3) 実 績

ア 活動内容

トワイライトスクールで行われている遊び・学び・体験・交流に加え、各ルーム校における実情に合わせ、「生活」ということに注目し、1日の生活リズムを決め、基本的な生活習慣を身につけさせたり、子どもたちが自分からお手伝いを進んで行えるきっかけをつくったり、連絡帳を使って子どもの様子を伝えたりして、子どもたちの見守りを行った。

なお、ルーム校においても、コロナ禍で作成したガイドラインに基づき、運営が継続できるようにするとともに、トワイライトのリフレッシュを行った。

イ 参加状況

申込状況				参加状況		
在籍児童数	参加申込数	申込割合	選択申込数	日数	参加者数	1日平均
24,405 人	10,618 人	43.5%	1,821 人	14,459 日	536,636 人	37.1 人

3 生涯学習センター

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター11施設（千種・北・西・中村・中・昭和・瑞穂・熱田・港・南・名東）において、安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行った。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努めるとともに、自主学習グループと連携して、趣味・教養、食・運動など、協会独自の講座・教室等を開催した。

新型コロナウイルス感染防止に対する取組みとして、安全・安心にご利用いただける

よう、消毒や換気の実施、活動室等の利用定員の変更、利用調整会の見直しなどを行った。

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、小学校27校にて体育館・運動場・特別活動室等・会議室・図書室・音楽室・多目的室・プールを開放して市民の利用に供する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、プールは全面的に開放を中止し、その他は10月までは中学生以下の子どもの活動に限り開放し、11月から大人の利用も含め全面再開となった。

施設名	体育館	運動場	特別活動・ 視聴覚室	研修 会議室	図書室	音楽室	多目的室	プール
開放日数	6,281	2,096	3,489	2,107	653	2,288	387	中止
利用人員	52,229	53,095	2,373	2,381	3,762	255	2,330	中止
学校数	25	23	15	8	16	12	3	7

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるため、次の事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、名古屋市教育委員会が令和3年度の野外学習を中止としたため、事業を全て中止した。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全て中止した。

【中止した事業内容】

区分	校数	対象	場所
小学校	262 校	5 年生	中津川野外教育センター
特別支援学校	4 校	小学部 5 年生 中学部 2 年生 高等部 2 年生	
中学校	110 校	2 年生	稲武野外教育センター
計	376 校		

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、テント設営地の整備、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全て中止した。

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、野外コース 17 コースを中止し、室内の製作・実験、プログラミング 23 コースについて、感染拡大防止対策を十分にとった上で実施した。

【実施したコース】

区 分	コース数	参加人数	時 期	場 所
プログラミング	10 (親子教室 6 を含む)	292 人	7 月、8 月、 12 月	小・中学校、 スポーツ振興会館
製作・実験	13 (親子教室 7 を含む)	375 人		
計	23 (親子教室 13 を含む)	667 人		

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内的における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行った。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
小学校(国立学校 1 校含む)	263 校
特別支援学校、鳴海中学校	6 校

※例年、その他として、稲武野外教育センターの物資を一部取り扱っているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大による野外教育活動中止のため未実施

※上表のほか中学校の牛乳代金の授受に関する事務

(2) 学校給食用物資の購入

ア 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき安価で良質な物資を、年間・学期・月などの契約単位で調達した。

イ 学校給食用物資及び納入業者については、学校給食用物資委員会での審査を経て、新たに 21 物資を登録した。

ウ 地産地消を推進し、身近な食材について理解を深めるため、名古屋市内産及び愛知県内産の野菜や加工品の活用を積極的に進め、特に市内産の野菜は 8 種類を調達した。

エ 食の安全への配慮から、購入物資におけるアレルギー物質の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供した。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資を各学校へ早朝輸送した。

また、物資の積み降ろしや、学校から預かる鍵の管理等の輸送実態を必要に応じて調査し、輸送業者の指導を行った。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について 50 箇所の事業所を実地

調査し、食品及び環境の衛生管理について指導を行った。

登録業者を対象として、衛生管理指導会を年2回開催し、食品の安全衛生についての知識、意識を高めた。

また、細菌・理化学検査を308検体 1,217項目にわたり実施し、学校給食用物資の安全性や品質の確保を図った。

2 給食を通じた食育の推進

(1) 給食新聞「なごやの学校給食」の発行

年2回（9月・2月）全保護者対象に発行した。

(2) 「食」に関する啓発事業

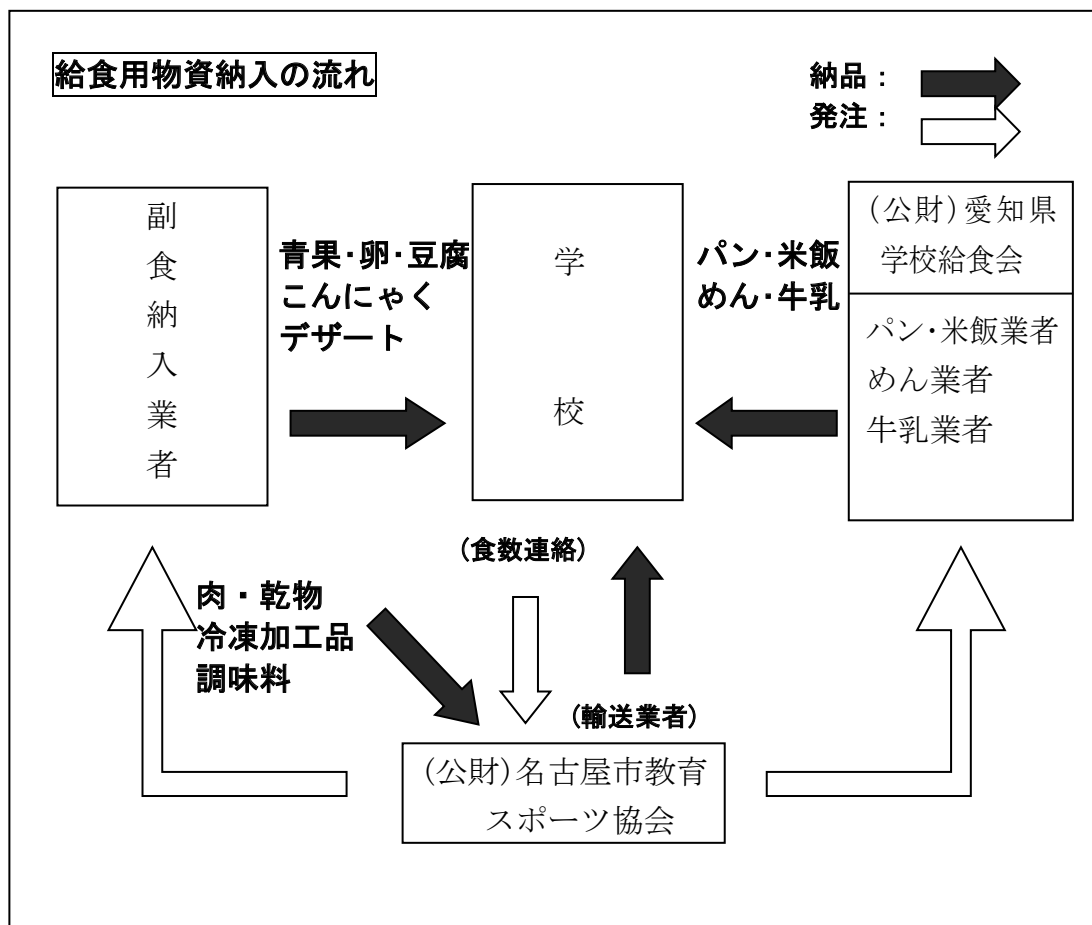
新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めつつ、小学校で「子ども料理教室」、生涯学習センターで「親子料理教室」、トワイライトスクール等で給食クイズや給食かるた遊びを行ったほか、小学校等へ「給食かるた」の貸出を行うなど「食」への関心を深める事業を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症下における新たな取組みとして、ホームページで「デジタル料理教室」の配信及び「給食かるた」のダウンロードサービスを開始した。

(3) 各学校で実施される試食会への参加

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、各学校で実施される試食会への参加は中止した。

<参考>



IV 理事会・評議員会の開催

1 理事会の開催

令和3年度における理事会を次のとおり開催し、各議案について、いずれも原案どおり可決承認された。

会議名	開催年月日	開催場所 出席理事・監事	議 案
第1回 理事会	令和3年 5月21日	(決議の省略)	1 副理事長の選定について 2 令和3年度第1回評議員会の開催について
第2回 理事会	令和3年 6月14日	スポーツ振興会館 理事 15名 (定足数 11名) 監事 1名	1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度収支決算について 3 理事長の選定について 4 定時評議員会の開催について
第3回 理事会	令和3年 11月19日	(決議の省略)	1 令和3年度第3回評議員会の開催について
第4回 理事会	令和4年 3月15日	スポーツ振興会館 理事 16名 (定足数 11名) 監事 1名	1 令和4年度事業計画案について 2 令和4年度収支予算案について 3 特定費用準備資金の廃止について 4 評議員会の開催について

2 評議員会の開催

令和3年度における評議員会を次のとおり開催し、各議案について、いずれも原案どおり可決承認された。

会議名	開催年月日	開催場所 出席評議員	議 案
第1回 評議員会	令和3年 5月31日	(決議の省略)	1 理事の選任について 2 監事の選任について 3 評議員の選任について
第2回 評議員会	令和3年 6月29日	スポーツ振興会館 評議員 15名 (定足数 12名)	1 令和2年度収支決算について 2 理事の選任について 3 評議員の選任について
第3回 評議員会	令和3年 11月30日	(決議の省略)	1 理事の選任について 2 評議員の選任について
第4回 評議員会	令和4年 3月23日	スポーツ振興会館 評議員 14名 (定足数 12名)	1 役員（理事長・監事）の業績評価について

V その他

1 令和3年度管理施設と利用者数（人）

施 設 名	指定管理期間	利用者数	トレーニング室	温水プール
総合体育館	平成28年度 ～令和4年度	1,029,154 (1,022,328)	71,974 (68,286)	96,772 (93,901)
瑞穂運動場	平成30年度 ～令和4年度	702,785 (694,457)	77,922 (74,565)	51,600 (49,836)
露橋スポーツセンター	平成28年度 ～令和4年度	161,060 (153,410)	50,339 (47,830)	28,725 (26,842)
枇杷島スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	222,362 (212,860)	62,155 (59,059)	44,948 (42,270)
稲永スポーツセンター	平成28年度 ～令和4年度	154,859 (149,113)	55,590 (52,545)	—
北スポーツセンター	平成28年度 ～令和4年度	116,648 (109,828)	47,811 (45,394)	28,701 (26,897)
中村スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	231,261 (219,803)	64,134 (60,757)	55,973 (52,791)
名東スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	211,007 (200,713)	56,628 (53,655)	54,040 (51,271)
南陽プール	平成30年度 ～令和4年度	80,092 (75,551)	25,694 (24,308)	46,209 (43,497)
山田西プール	平成30年度 ～令和6年度	41,876 (39,673)	—	41,876 (39,673)
富田北プール	平成30年度 ～令和6年度	67,055 (63,809)	—	46,571 (43,946)
黒川スポーツトレーニングセンター	平成30年度 ～令和4年度	86,397 (83,327)	68,256 (66,790)	—
港サッカー場	平成28年度 ～令和4年度	30,688 (30,513)	—	—
港プール	平成28年度 ～令和4年度	10,432	—	—
中川プール	平成30年度 ～令和6年度	3,339	—	—
楠プール	平成28年度 ～令和4年度	5,465	—	—
山田プール	平成30年度 ～令和6年度	6,945	—	—
富田プール	平成28年度 ～令和4年度	4,716	—	—
小計		3,166,141 (3,086,282)	580,503 (553,189)	495,415 (470,924)

施 設 名	指定管理期間	利用者数	トレーニング室	温水プール
青少年交流プラザ	平成 29 年度 ～令和 4 年度	23,365 (22,931)	—	—
青少年宿泊センター	平成 29 年度 ～令和 4 年度	33,710	—	—
小計		57,075 (56,641)	—	—
千種生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	68,322 (67,866)	—	—
北生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	109,855 (108,456)	—	—
西生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	66,947 (66,394)	—	—
中村生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	57,455 (57,101)	—	—
中生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	55,409 (54,799)	—	—
昭和生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	54,601 (54,064)	—	—
瑞穂生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	57,115 (56,608)	—	—
熱田生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	53,801 (53,400)	—	—
港生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	41,369 (41,083)		
南生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	63,800 (63,224)		
名東生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	58,434 (57,947)	—	—
小計		687,108 (680,942)	—	—
合計		3,910,324 (3,823,865)	580,503 (553,189)	495,415 (470,924)

※ トレーニング室及び温水プールについては、利用者数の内数

※ () 内の利用者数は、拡大した施設営業日の利用者数を含めない人数

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定期間の利用時間短縮

※ 瑞穂運動場 陸上競技場、北スポーツセンター 第 1 競技場・温水プール (9 月～3 月末まで)、青少年交流プラザ 本館 (12 月末まで) は改修工事のため一定期間休場

2 第4次経営戦略計画（令和2年度～令和4年度）における成果指標の達成状況

成果指標(単位)		令和3年度 成果		令和3年度 目標	最終目標
1	講座・教室受講率【スポーツ】 (%)	74.6	○	74.5	75.5
2	お客様満足度 (%)	96.8	◎	96.0 以上	96.0 以上
3	「アレルギー物質・添加物除去物資」、 「地産地品物資」の開発提案 (3年間累計物資数)	<アレルギー物質・ 添加物除去物資> 21 <地産地品物資> 1	◎	20	12
4	協会ホームページの総ページアクセス 件数 (千件)	8,668		12,000	12,500
5	利用料金収入 (%)	71.3	○	70.0	103.0
6	自主事業収入 (千円)	25,458	○	22,000	41,000
7	新規協働事業数【スポーツ】 (3年間累計事業数)	33	◎	25	33
8	連携団体数【トワイライト】 (団体数)	18	○	18	27
9	母語アシスタント設置校数【トワイライト】 (学校数)	8	○	8	10
10	自主学習グループ活用事業数【生涯】 (3年間累計事業数)	25	○	22	33
11	障がい者スポーツ指導員有資格者数 (人)	60		68	80

◎＝令和3年度目標及び最終目標を達成している ○＝令和3年度目標を達成している（令和4年3月末日現在）

3 加盟団体・賛助会員一覧

加盟団体数	
令和3年度	令和2年度
55団体	55団体

【内訳】

加盟競技団体			
令和3年度		令和2年度	
39団体		39団体	
1	陸上競技	1	陸上競技
2	水泳	2	水泳
3	ソフトテニス	3	ソフトテニス
4	卓球	4	卓球
5	バレーボール	5	バレーボール
6	バスケットボール	6	バスケットボール
7	軟式野球	7	軟式野球
8	サッカー	8	サッカー
9	柔道	9	柔道
10	剣道	10	剣道
11	バドミントン	11	バドミントン
12	弓道	12	弓道
13	相撲	13	相撲
14	庭球	14	庭球
15	ソフトボール	15	ソフトボール
16	ハンドボール	16	ハンドボール
17	スキー	17	スキー
18	スケート	18	スケート
19	ホッケー	19	ホッケー
20	ボート	20	ボート
21	ラグビーフットボール	21	ラグビーフットボール
22	自転車競技	22	自転車競技
23	体操	23	体操
24	フェンシング	24	フェンシング
25	レスリング	25	レスリング
26	ウェイトリフティング	26	ウェイトリフティング
27	アマチュアボクシング	27	アマチュアボクシング
28	ヨット	28	ヨット
29	山岳	29	山岳
30	アーチェリー	30	アーチェリー
31	ボウリング	31	ボウリング
32	空手道	32	空手道
33	少林寺拳法	33	少林寺拳法
34	日本拳法	34	日本拳法
35	アイスホッケー	35	アイスホッケー
36	ドッジボール	36	ドッジボール
37	バトン	37	バトン
38	バウンドテニス	38	バウンドテニス
39	綱引	39	綱引

[illegible]

賛助会員数推移			
	令和3年度	令和2年度	増減
法 人	52	55	▲ 3
競技団体	31	29	2
地域団体	3	3	0
個 人	4	7	▲ 3
合 計	90	94	▲ 4

敬称略

法 人			
1	学校法人 愛知学院	31	学校法人 東海学園
2	(株) 愛知銀行	32	東海クリエイト (株)
3	愛知県ボウリング場協会名古屋支部	33	東海廣告 (株)
4	愛知ダイハツ (株)	34	東洋グリーン (株)
5	愛知日野自動車 (株)	35	東レ (株) 愛知工場
6	(株) アダチョー	36	名古屋掖済会病院
7	石黒体育施設 (株)	37	(株) 名古屋銀行
8	(株) 伊藤建築設計事務所	38	名古屋姉妹友好都市協会
9	岩間造園 (株)	39	公益社団法人 名古屋青年会議所
10	(株) 江口巖商店	40	学校法人 名古屋電気学園
11	(株) A Tグループ	41	ニシウラ建設 (株)
12	OMC (株)	42	(株) 坂角総本舗
13	鹿島建設 (株) 中部支店	43	パイロットインキ (株)
14	加藤徽章店	44	パナソニックLSエンジニアリング (株) 中部支店
15	(株) 加藤商会	45	パナソニックシステム (株) エレクトリックワークス社 中部電材営業部
16	医療法人 香流会 絃仁病院	46	パナソニックシステムソリューションズジャパン (株) 中部社
17	(株) キスラ	47	東山遊園 (株)
18	近藤産興 (株)	48	(株) 星が丘自動車学校
19	(株)三光	49	(株) 星が丘ボウル
20	サンメッセ (株) 名古屋支店	50	丸丹スポーツ用品 (株)
21	(株) シーホルズ	51	幹配電 (株)
22	清水建設 (株) 名古屋支店	52	(株) 名立
23	(株) J P N		
24	椙山女学園大学		
25	スポーツプラザ トキワ		
26	(株) 住ゴム産業 中部支店		
27	(株) 設幸工務店		
28	(株) 竹中工務店 名古屋支店		
29	中京大学		
30	(株) テツコーポレーション		

競技団体			
1	名古屋市陸上競技協会	21	名古屋市日本拳法協会
2	(一社) 愛知水泳連盟 (2件)	22	日本拳法全国連盟中部日本本部
3	(一社) 名古屋市水泳連盟 (3件)	23	名古屋市ドッジボール協会
4	名古屋市ソフトテニス連盟 (2件)	24	名古屋市バトン協会
5	名古屋市バレーボール協会	25	名古屋市バウンドテニス協会
6	名古屋市軟式野球連盟		
7	名古屋サッカー協会 (2件)		
8	名古屋市剣道連盟		
9	名古屋市バドミントン協会 (2件)		
10	名古屋弓道協会		
11	名古屋市相撲連盟		
12	名古屋市庭球協会		
13	名古屋市ソフトボール協会		
14	名古屋市スケート協会		
15	名古屋市ホッケー協会		
16	名古屋市ボート協会		
17	名古屋市ラグビーフットボール協会		
18	名古屋市ウェイトリフティング協会		
19	名古屋市アーチェリー協会		
20	名古屋市小林寺拳法協会		(25団体 31件)
地域団体		個人	
1	名古屋市熱田区体育協会		(4名)
2	名古屋市守山区体育協会		
3	名古屋市名東区体育協会		

事業報告の附属明細書

令和３年度事業報告について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

Ⅱ 収支決算

収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	295,544	297,000	△ 1,456
(2)特定資産運用益	274,834	209,000	65,834
(3)受取会費	5,274,000	5,349,000	△ 75,000
(4)受取受託金	2,854,481,294	2,736,378,000	118,103,294
(5)受取指定管理料	2,056,242,513	2,308,779,000	△ 252,536,487
(6)受取利用料金	1,210,816,294	962,457,000	248,359,294
(7)事業収益	6,322,923,414	6,645,883,000	△ 322,959,586
(8)受取補助金等	213,917,097	225,558,000	△ 11,640,903
(9)受取負担金	13,216,843	15,758,000	△ 2,541,157
(10)受取寄附金	241,000	0	241,000
(11)雑収益	14,610,845	8,662,000	5,948,845
経常収益計	12,692,293,678	12,909,330,000	△ 217,036,322
②経常費用			
(1)事業費	12,832,548,494	12,935,155,000	△ 102,606,506
役員報酬	6,338,994	6,567,000	△ 228,006
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,362,110,745	3,425,040,000	△ 62,929,255
競技スポーツ事業費	57,152,107	70,012,000	△ 12,859,893
学校開放事業費	3,002,846,593	2,737,041,000	265,805,593
野外教育事業費	34,047,960	242,781,000	△ 208,733,040
学校給食事業費	6,268,893,559	6,366,643,000	△ 97,749,441
退職給付費用	31,429,000	14,546,000	16,883,000
賞与給付費用	69,729,536	72,525,000	△ 2,795,464
(2)管理費	35,597,945	30,351,000	5,246,945
役員報酬	3,800,792	4,050,000	△ 249,208
事務局費	31,677,811	26,191,000	5,486,811
退職給付費用	36,000	24,000	12,000
賞与給付費用	83,342	86,000	△ 2,658
経常費用計	12,868,146,439	12,965,506,000	△ 97,359,561
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 175,852,761	△ 56,176,000	△ 119,676,761
特定資産評価損益等	△ 1,383,000	0	△ 1,383,000
投資有価証券評価損益等	△ 346,000	0	△ 346,000
評価損益等計	△ 1,729,000	0	△ 1,729,000
当期経常増減額	△ 177,581,761	△ 56,176,000	△ 121,405,761

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
②経常外費用			
(1)固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 177,581,761	△ 56,176,000	△ 121,405,761
一般正味財産期首残高	1,024,739,163	1,029,672,000	△ 4,932,837
一般正味財産期末残高	847,157,402	973,496,000	△ 126,338,598
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	295,544	297,000	△ 1,456
一般正味財産への振替額	△ 295,544	△ 297,000	1,456
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000,000	120,000,000	0
指定正味財産期末残高	120,000,000	120,000,000	0
III 正味財産期末残高	967,157,402	1,093,496,000	△ 126,338,598

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金(現金)	7,141,172	7,254,223	△ 113,051
現金預金(普通預金)	1,103,927,839	1,122,779,870	△ 18,852,031
未 収 金	708,321,226	1,114,180,763	△ 405,859,537
前 払 金	12,054,090	12,716,100	△ 662,010
棚卸資産(商品)	3,608,701	4,119,363	△ 510,662
流動資産合計	1,835,053,028	2,261,050,319	△ 425,997,291
2 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	119,758,800	119,758,800	0
基本財産引当預金	241,200	241,200	0
基本財産合計	120,000,000	120,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	396,502,154	478,998,057	△ 82,495,903
退職給付引当有価証券	189,064,000	140,447,000	48,617,000
退職給付積立預金	72,038,220	72,038,220	0
都市間交流スポーツ大会積立預金	0	2,500,000	△ 2,500,000
生涯学習等環境向上活動積立預金	0	27,240,001	△ 27,240,001
ICT環境等向上活動積立預金	0	70,000,000	△ 70,000,000
なごやジュニアアスリート応援基金	241,000	0	241,000
特定資産合計	657,845,374	791,223,278	△ 133,377,904
(3)その他固定資産			
諸準備積立預金	31,860,964	81,860,964	△ 50,000,000
諸準備積立有価証券	368,875,000	319,221,000	49,654,000
建 物	3,060,262	3,294,461	△ 234,199
建物附属設備	458,469	541,925	△ 83,456
什器備品	599,359	296,501	302,858
ソフトウェア	898,128	1,347,192	△ 449,064
電話加入権	137,268	137,268	0
リース資産	14,988,815	23,596,134	△ 8,607,319
その他固定資産合計	420,878,265	430,295,445	△ 9,417,180
固定資産合計	1,198,723,639	1,341,518,723	△ 142,795,084
資 産 合 計	3,033,776,667	3,602,569,042	△ 568,792,375
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	1,182,571,421	1,530,966,748	△ 348,395,327
未払金(受託金収入等精算金)	71,897,941	80,047,893	△ 8,149,952
前 受 金	80,925,205	71,010,975	9,914,230
預 り 金	49,177,814	47,228,217	1,949,597
賞与引当金	69,812,878	75,422,609	△ 5,609,731
リース債務	12,437,472	12,042,397	395,075
流動負債合計	1,466,822,731	1,816,718,839	△ 349,896,108
2 固定負債			
退職給付引当金	587,953,354	620,449,257	△ 32,495,903
リース債務	2,658,604	11,684,844	△ 9,026,240
資産除去債務	9,184,576	8,976,939	207,637
固定負債合計	599,796,534	641,111,040	△ 41,314,506
負 債 合 計	2,066,619,265	2,457,829,879	△ 391,210,614
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	120,000,000	120,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(120,000,000)	(120,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	847,157,402	1,024,739,163	△ 177,581,761
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(72,279,220)	(171,778,221)	△ 99,499,001
正味財産合計	967,157,402	1,144,739,163	△ 177,581,761
負債及び正味財産合計	3,033,776,667	3,602,569,042	△ 568,792,375

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金(現金)	7,022,751	0	118,421	0	7,141,172
現金預金(普通預金)	269,545,708	748,832,818	85,549,313	0	1,103,927,839
未 収 金	695,822,988	6,994,283	5,503,955	0	708,321,226
前 払 金	12,054,090	0	0	0	12,054,090
棚卸資産(商品)	2,687,540	921,161	0	0	3,608,701
流動資産合計	987,133,077	756,748,262	91,171,689	0	1,835,053,028
2 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	119,758,800	0	0	0	119,758,800
基本財産引当預金	241,200	0	0	0	241,200
基本財産合計	120,000,000	0	0	0	120,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金	329,320,883	49,156,258	18,025,013	0	396,502,154
退職給付引当有価証券	144,889,140	33,631,480	10,543,380	0	189,064,000
退職給付積立預金	59,662,060	8,816,671	3,559,489	0	72,038,220
都市間交流スポーツ大会積立預金	0	0	0	0	0
生涯学習等環境向上活動積立預金	0	0	0	0	0
ICT環境等向上活動積立預金	0	0	0	0	0
なごやジュニアアスリート応援基金	241,000	0	0	0	241,000
特定資産合計	534,113,083	91,604,409	32,127,882	0	657,845,374
(3)その他固定資産					
諸準備積立預金	0	0	31,860,964	0	31,860,964
諸準備積立有価証券	0	0	368,875,000	0	368,875,000
建 物	3,060,262	0	0	0	3,060,262
建物附属設備	458,469	0	0	0	458,469
什器備品	28,441	0	570,918	0	599,359
ソフトウェア	816,032	81,573	523	0	898,128
電話加入権	137,268	0	0	0	137,268
リース資産	11,560,658	0	3,428,157	0	14,988,815
その他固定資産合計	16,061,130	81,573	404,735,562	0	420,878,265
固定資産合計	670,174,213	91,685,982	436,863,444	0	1,198,723,639
資 産 合 計	1,657,307,290	848,434,244	528,035,133	0	3,033,776,667
II 負債の部					
1 流動負債					
未 払 金	1,067,119,657	109,536,124	5,915,640	0	1,182,571,421
未払金(受託金収入等精算金)	71,897,941	0	0	0	71,897,941
前 受 金	48,639,123	32,286,082	0	0	80,925,205
預 り 金	41,142,945	5,512,517	2,522,352	0	49,177,814
賞与引当金	61,875,612	7,853,924	83,342	0	69,812,878
リース債務	11,684,844	0	752,628	0	12,437,472
流動負債合計	1,302,360,122	155,188,647	9,273,962	0	1,466,822,731
2 固定負債					
退職給付引当金	468,560,035	95,866,137	23,527,182	0	587,953,354
リース債務	0	0	2,658,604	0	2,658,604
資産除去債務	9,184,576	0	0	0	9,184,576
固定負債合計	477,744,611	95,866,137	26,185,786	0	599,796,534
負 債 合 計	1,780,104,733	251,054,784	35,459,748	0	2,066,619,265
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
(うち基本財産への充当額)	120,000,000	0	0	0	120,000,000
(うち基本財産への充当額)	(120,000,000)	(0)	(0)	(0)	(120,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)	△ 242,797,443	597,379,460	492,575,385	0	847,157,402
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(59,903,060)	(8,816,671)	(3,559,489)	(0)	(72,279,220)
正味財産合計額	△ 122,797,443	597,379,460	492,575,385	0	967,157,402
負債及び正味財産合計	1,657,307,290	848,434,244	528,035,133	0	3,033,776,667

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	295,544	295,501	43
基本財産受取利息	295,544	295,501	43
(2)特定資産運用益	274,834	173,000	101,834
特定資産受取利息	274,834	173,000	101,834
(3)受取会費	5,274,000	5,378,890	△ 104,890
受取競技スポーツ会費	5,274,000	5,378,890	△ 104,890
(4)受取受託金	2,854,481,294	2,943,654,888	△ 89,173,594
受取スポーツ受託金	14,516,234	65,585,708	△ 51,069,474
受取学校開放受託金	2,839,965,060	2,878,069,180	△ 38,104,120
(5)受取指定管理料	2,056,242,513	2,497,515,312	△ 441,272,799
受取スポーツ施設指定管理料	1,524,954,435	1,957,626,540	△ 432,672,105
受取青少年交流プラザ指定管理料	134,269,000	137,099,000	△ 2,830,000
受取生涯学習センター指定管理料	397,019,078	402,789,772	△ 5,770,694
(6)受取利用料金	1,210,816,294	645,913,343	564,902,951
受取スポーツ施設利用料金	1,092,855,569	555,424,693	537,430,876
受取生涯学習センター利用料金	117,960,725	90,488,650	27,472,075
(7)事業収益	6,322,923,414	5,623,869,413	699,054,001
スポーツ等事業収益	133,266,845	82,334,839	50,932,006
野外教育事業収益	2,072,200	472,000	1,600,200
学校給食事業収益	6,187,584,369	5,541,062,574	646,521,795
(8)受取補助金等	213,917,097	217,763,165	△ 3,846,068
受取スポーツ補助金	62,616,466	67,282,294	△ 4,665,828
受取競技スポーツ補助金等	42,724,349	42,725,021	△ 672
受取野外教育補助金	33,198,520	32,965,199	233,321
受取学校給食補助金	75,377,762	74,790,651	587,111
(9)受取負担金	13,216,843	6,386,234	6,830,609
受取競技スポーツ負担金	13,216,843	6,386,234	6,830,609
(10)受取寄附金	241,000	2,359,498	△ 2,118,498
受取寄附金	241,000	2,359,498	△ 2,118,498
(11)雑収益	14,610,845	24,317,465	△ 9,706,620
受取利息	1,156,932	1,095,509	61,423
雑収益	13,453,913	23,221,956	△ 9,768,043
経常収益 計	12,692,293,678	11,967,626,709	724,666,969

科 目	当年度	前年度	増 減
②経常費用			
(1)事業費	12,832,548,494	11,937,600,919	894,947,575
役員報酬	6,338,994	6,007,637	331,357
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,362,110,745	3,318,890,698	43,220,047
競技スポーツ事業費	57,152,107	51,181,539	5,970,568
学校開放事業費	3,002,846,593	2,801,961,488	200,885,105
野外教育事業費	34,047,960	32,258,731	1,789,229
学校給食事業費	6,268,893,559	5,619,036,709	649,856,850
退職給付費用	31,429,000	32,927,000	△ 1,498,000
賞与給付費用	69,729,536	75,337,117	△ 5,607,581
(2)管理費	35,597,945	23,703,437	11,894,508
役員報酬	3,800,792	3,771,979	28,813
事務局費	31,677,811	19,809,966	11,867,845
退職給付費用	36,000	36,000	0
賞与給付費用	83,342	85,492	△ 2,150
経常費用 計	12,868,146,439	11,961,304,356	906,842,083
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 175,852,761	6,322,353	△ 182,175,114
特定資産評価損益等	△ 1,383,000	△ 74,200	△ 1,308,800
投資有価証券評価損益等	△ 346,000	△ 1,804,000	1,458,000
評価損益等計	△ 1,729,000	△ 1,878,200	149,200
当期経常増減額	△ 177,581,761	4,444,153	△ 182,025,914
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
②経常外費用			
(1)固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用 計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 177,581,761	4,444,152	△ 182,025,913
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 177,581,761	4,444,152	△ 182,025,913
一般正味財産期首残高	1,024,739,163	1,020,295,011	4,444,152
一般正味財産期末残高	847,157,402	1,024,739,163	△ 177,581,761
II 指定正味財産増減の部			
(1)基本財産運用益	295,544	295,501	43
一般正味財産への振替額	△ 295,544	△ 295,501	△ 43
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000,000	120,000,000	0
指定正味財産期末残高	120,000,000	120,000,000	0
III 正味財産期末残高	967,157,402	1,144,739,163	△ 177,581,761

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	公共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①経常収益								
(1)基本財産運用益	0	0	0	295,544	295,544	0	0	295,544
基本財産受取利息	0	0	0	295,544	295,544	0	0	295,544
(2)特定資産運用益	274,834	0	0	0	274,834	0	0	274,834
特定資産受取利息	274,834	0	0	0	274,834	0	0	274,834
(3)受取会費	5,274,000	0	0	0	5,274,000	0	0	5,274,000
受取競技スポーツ会費	5,274,000	0	0	0	5,274,000	0	0	5,274,000
(4)受取受託金	10,728,495	2,840,065,060	0	0	2,850,793,555	3,687,739	0	2,854,481,294
受取スポーツ受託金	10,728,495	100,000	0	0	10,828,495	3,687,739	0	14,516,234
受取学校開放受託金	0	2,839,965,060	0	0	2,839,965,060	0	0	2,839,965,060
(5)受取指定管理料	1,472,503,664	380,641,165	0	0	1,853,144,829	203,097,684	0	2,056,242,513
受取スポーツ施設指定管理料	1,340,106,389	0	0	0	1,340,106,389	184,848,046	0	1,524,954,435
受取青少年交流プラザ指定管理料	132,397,275	0	0	0	132,397,275	1,871,725	0	134,269,000
受取生涯学習センター指定管理料	0	380,641,165	0	0	380,641,165	16,377,913	0	397,019,078
(6)受取利用料金	612,663,388	107,385,408	0	0	720,048,796	490,767,498	0	1,210,816,294
受取スポーツ施設利用料金	612,663,388	0	0	0	612,663,388	480,192,181	0	1,092,855,569
受取生涯学習センター利用料金	0	107,385,408	0	0	107,385,408	10,575,317	0	117,960,725
(7)事業収益	116,550,163	5,679,990	6,187,584,369	0	6,309,814,522	13,108,892	0	6,322,923,414
スポーツ等事業収益	116,550,163	3,607,790	0	0	120,157,953	13,108,892	0	133,266,845
野外教育事業収益	0	2,072,200	0	0	2,072,200	0	0	2,072,200
学校給食事業収益	0	0	6,187,584,369	0	6,187,584,369	0	0	6,187,584,369
(8)受取補助金等	105,340,815	33,198,520	75,377,762	0	213,917,097	0	0	213,917,097
受取スポーツ補助金	62,616,466	0	0	0	62,616,466	0	0	62,616,466
受取競技スポーツ補助金等	42,724,349	0	0	0	42,724,349	0	0	42,724,349
受取野外教育補助金	0	33,198,520	0	0	33,198,520	0	0	33,198,520
受取学校給食補助金	0	0	75,377,762	0	75,377,762	0	0	75,377,762
(9)受取負担金	13,216,843	0	0	0	13,216,843	0	0	13,216,843
受取競技スポーツ負担金	13,216,843	0	0	0	13,216,843	0	0	13,216,843
(10)受取寄附金	241,000	0	0	0	241,000	0	0	241,000
受取寄附金	241,000	0	0	0	241,000	0	0	241,000
(11)雑収益	5,934,069	0	1,249,015	0	7,183,084	129,644	7,298,117	14,610,845
受取利息	0	0	0	0	0	0	1,156,932	1,156,932
雑収益	5,934,069	0	1,249,015	0	7,183,084	129,644	6,141,185	13,453,913
経常収益 計	2,342,727,271	3,366,970,143	6,264,211,146	295,544	11,974,204,104	710,791,457	7,298,117	12,692,293,678
②経常費用								
(1)事業費	2,561,687,025	3,545,537,827	6,277,828,728	0	12,385,053,580	447,494,914	0	12,832,548,494
役員報酬	1,321,626	1,776,534	3,012,632	0	6,110,792	228,202	0	6,338,994
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,446,491,772	479,836,674	0	0	2,926,328,446	435,782,299	0	3,362,110,745
競技スポーツ事業費	57,152,107	0	0	0	57,152,107	0	0	57,152,107
学校開放事業費	0	3,002,846,593	0	0	3,002,846,593	0	0	3,002,846,593
野外教育事業費	0	34,047,960	0	0	34,047,960	0	0	34,047,960
学校給食事業費	0	0	6,268,893,559	0	6,268,893,559	0	0	6,268,893,559
退職給付費用	18,325,994	8,040,517	1,432,000	0	27,798,511	3,630,489	0	31,429,000
賞与給付費用	38,395,526	18,989,549	4,490,537	0	61,875,612	7,853,924	0	69,729,536
(2)管理費	0	0	0	0	0	0	35,597,945	35,597,945
役員報酬	0	0	0	0	0	0	3,800,792	3,800,792
事務局費	0	0	0	0	0	0	31,677,811	31,677,811
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	36,000	36,000
賞与給付費用	0	0	0	0	0	0	83,342	83,342
経常費用 計	2,561,687,025	3,545,537,827	6,277,828,728	0	12,385,053,580	447,494,914	35,597,945	12,868,146,439
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 218,959,754	△ 178,567,684	△ 13,617,582	295,544	△ 410,849,476	263,296,543	△ 28,299,828	△ 175,852,761
特定資産評価損益等	△ 1,383,000	0	0	0	△ 1,383,000	0	0	△ 1,383,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	△ 346,000	△ 346,000
評価損益等計	△ 1,383,000	0	0	0	△ 1,383,000	0	△ 346,000	△ 1,729,000
当期経常増減額	△ 220,342,754	△ 178,567,684	△ 13,617,582	295,544	△ 412,232,476	263,296,543	△ 28,645,828	△ 177,581,761
2 経常外増減の部								
①経常外収益								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
②経常外費用								
(1)固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 220,342,754	△ 178,567,684	△ 13,617,582	295,544	△ 412,232,476	263,296,543	△ 28,645,828	△ 177,581,761
他会計振替額	220,342,754	42,953,789	0	0	263,296,543	△ 263,296,543	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 135,613,895	△ 13,617,582	295,544	△ 148,935,933	0	△ 28,645,828	△ 177,581,761
一般正味財産期首残高	△ 122,805,586	50,728,416	△ 28,196,947	6,412,607	△ 93,861,510	597,379,460	521,221,213	1,024,739,163
一般正味財産期末残高	△ 122,805,586	△ 84,885,479	△ 41,814,529	6,708,151	△ 242,797,443	597,379,460	492,575,385	847,157,402
II 指定正味財産増減の部								
(1)基本財産運用益	0	0	0	295,544	295,544	0	0	295,544
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 295,544	△ 295,544	0	0	△ 295,544
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	120,000,000	120,000,000	0	0	120,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	120,000,000	120,000,000	0	0	120,000,000
III 正味財産期末残高	△ 122,805,586	△ 84,885,479	△ 41,814,529	126,708,151	△ 122,797,443	597,379,460	492,575,385	967,157,402

(注)公1:体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業

公2:学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業

公3:児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業

公共通:公益目的事業全体に係るもの

収益:管理している施設を公益目的以外の事業で貸与する事業

法人会計:法人の運営に係るもの

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

重要な会計方針は、次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券：償却原価法(定額法)を採用している。

なお、取得差額が少額であり重要性が乏しい銘柄については償却原価法を適用していない。

その他有価証券：決算期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法(収益性低下による簿価切り下げの方法)を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産：定率法による減価償却を実施している。

②リース資産：

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金：当法人の賞与支給規定に基づき職員に支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当年度に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金：期末退職給付の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

○ 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳 (単位:円)

退職給付引当金	587,953,354
---------	-------------

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

退職給付費用	31,465,000
--------	------------

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 表示方法の変更

前年度まで、事業費及び管理費の各科目内に含めて表示していた「役員報酬」を、明瞭性を高めるため、当年度より区分掲記している。この表示方法の変更を反映させるため、前年度の財務諸表の組替えを行っている。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	119,758,800	0	0	119,758,800
基本財産引当預金	241,200	0	0	241,200
小 計	120,000,000	0	0	120,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	478,998,057	0	82,495,903	396,502,154
退職給付引当有価証券	140,447,000	48,617,000	0	189,064,000
退職給付積立預金	72,038,220	0	0	72,038,220
都市間交流積立預金	2,500,000	0	2,500,000	0
生涯学習等積立預金	27,240,001	0	27,240,001	0
ICT環境等積立預金	70,000,000	0	70,000,000	0
なごやジュニア アスリート応援基金	0	241,000	0	241,000
小 計	791,223,278	48,858,000	182,235,904	657,845,374
合 計	911,223,278	48,858,000	182,235,904	777,845,374

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産か らの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	119,758,800	119,758,800	0	0
基本財産引当預金	241,200	241,200	0	0
小 計	120,000,000	120,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	396,502,154	0	0	396,502,154
退職給付引当有価証券	189,064,000	0	0	189,064,000
退職給付積立預金	72,038,220	0	72,038,220	0
なごやジュニア アスリート応援基金	241,000	0	241,000	0
小 計	657,845,374	0	72,279,220	585,566,154
合 計	777,845,374	120,000,000	72,279,220	585,566,154

6 担保に供している資産

該当なし。

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	9,164,470	6,104,208	3,060,262
建物附属設備	983,864	525,395	458,469
什 器 備 品	1,424,996	825,637	599,359
リース資産	61,684,214	46,695,399	14,988,815
合 計	73,257,544	54,150,639	19,106,905

8 リース取引関係

(1) ファイナンス・リース取引

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

スポーツ・レクリエーション事業におけるトレーニング機器及び高速カラー印刷機である。

9 保証債務等の偶発債務

該当なし。

10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
日本高速道路保有・ 債務返済機構債権	59,965,200	60,486,000	520,800
広島県公募公債	29,852,700	30,045,000	192,300
浜松市公募公債	29,940,900	29,916,000	△ 24,900
合 計	119,758,800	120,447,000	688,200

11 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区分
スポーツ振興事業 推進補助金	名古屋市	0	103,817,868	103,817,868	0	
教育振興事業推進 補助金	名古屋市	0	75,377,762	75,377,762	0	
野外教育事業推進 補助金	名古屋市	0	31,781,252	31,781,252	0	
小中学生科学教室 開催事業費補助金	名古屋市	0	1,417,268	1,417,268	0	
体育協会負担金	名古屋市	0	13,216,843	13,216,843	0	
体育協会交付金	愛知県 スポーツ協会	0	1,195,947	1,195,947	0	
スポーツ振興くじ 助成金	日本スポーツ 振興センター	0	327,000	327,000	0	
なごやジュニア アスリート応援基金	一般寄附者	0	241,000	0	241,000	一般正味財産
合 計		0	227,374,940	227,133,940	241,000	

12 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替	
基本財産受取利息	295,544

13 関連当事者との取引の内容

該当なし。

14 重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	75,422,609	69,812,878	75,422,609		69,812,878
退職給付引当金	620,449,257	31,465,000	63,960,903		587,953,354

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載の為、省略している。

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金(現金)	手元保管	運転資金として	7,141,172
	現金預金(普通預金)	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	運転資金等として	891,436,855
		決済用普通預金 丸八信用組合 本店	運転資金として	155,275,616
		普通預金 丸八信用組合 本店	運転資金として	9,975,298
		郵便振替口座 ゆうちょ銀行 比々野郵便局	運転資金として	47,240,070
	未収金	名古屋市等からの未収金	受託事業等に対するもの	708,321,226
	前払金	保険料等の前払金	傷害保険等の前払い	12,054,090
	棚卸資産(商品)	スポーツ施設利用券 DVD	スポーツ・レクリエーション施設運営のため スポーツ普及のため	3,315,913 292,788
流動資産合計				1,835,053,028
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	日本高速道路保有・債務返済機構債券 広島県公債	59,965,200 29,852,700
		浜松市公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	29,940,900
特定資産	基本財産引当預金	定期預金 名古屋銀行 大江支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	241,200
	退職給付引当預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	退職金の支払いに備えたもの	396,502,154
	退職給付引当有価証券	日本高速道路保有・債務返済機構債券 北海道公募公債	退職金の支払いに備えたもの	40,324,000 49,600,000
		なごやか市民債	退職金の支払いに備えたもの	50,030,000
		国際協力機構債	退職金の支払いに備えたもの	49,110,000
	退職給付積立預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	退職金の支払いに備えたもの	72,038,220
	なごやジュニアアスリート応援基金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	公益目的保有財産であり、ジュニアアスリートの育成に活用するためのもの	241,000
その他 固定資産	諸準備積立預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	大災害による損害等に備えたもの	31,860,964
	諸準備積立有価証券	広島県公債 三菱UFJリース	大災害による損害等に備えたもの	70,105,000 100,190,000
		プレミア投資法人債	大災害による損害等に備えたもの	99,870,000
		北海道公募公債	大災害による損害等に備えたもの	49,600,000
		国際協力機構債	大災害による損害等に備えたもの	49,110,000
	建物	名古屋市熱田区川並町2丁目22番地 鉄筋2階建 835.41平方メートル	公益目的保有財産であり、学校給食事業の施設として使用している。	3,060,262
	建物附属設備	冷凍設備等	公益目的保有財産であり、学校給食事業に使用している。	458,469
	什器備品	電話設備等	学校給食事業やスポーツ・レクリエーション等施設の管理運営事業に使用している。	599,359
	ソフトウェア	勤怠システム	職員等の出退勤等の管理に使用している。	898,128
	電話加入権	電話4基	公益目的保有財産であり、学校給食事業に使用している。	137,268
	リース資産	トレーニング機器 高速カラー印刷機	スポーツ事業に使用している。 スポーツ・レクリエーション等施設の管理運営事業等に使用している。	11,560,658 3,428,157
固定資産合計				1,198,723,639
資産合計				3,033,776,667
(流動負債)	未払金	取引先等に対する未払金 名古屋市に対する未払金	委託料等の未払い分 受託金収入等精算金	1,182,571,421 71,897,941
	前受金	利用者等からの前受金	施設使用料等	80,925,205
	預り金	従業員からの預り金	社会保険料等	49,177,814
	賞与引当金	従業員に対するもの	次年度賞与の当年度経過分	69,812,878
	リース債務	トレーニング機器 高速カラー印刷機	スポーツ事業に使用している。 スポーツ・レクリエーション等施設の管理運営事業等に使用している。	11,684,844 752,628
流動負債合計				1,466,822,731
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	退職金の支払いに備えたもの	587,953,354
	リース債務	高速カラー印刷機	スポーツ・レクリエーション等施設の管理運営事業等に使用している。	2,658,604
	資産除去債務	名古屋市熱田区川並町2丁目22番地 鉄筋2階建 835.41平方メートル	原状回復義務に伴うもの	9,184,576
固定負債合計				599,796,534
負債合計				2,066,619,265
正味財産				967,157,402

〔 参 考 資 料 〕

I 加盟団体一覧（令和4年7月1日現在）

競技団体
名古屋市陸上競技協会
名古屋市水泳連盟
名古屋市ソフトテニス連盟
名古屋市卓球協会
名古屋市バレーボール協会
名古屋市バスケットボール協会
名古屋市軟式野球連盟
名古屋サッカー協会
名古屋柔道協会
名古屋市剣道連盟
名古屋市バドミントン協会
名古屋弓道協会
名古屋市相撲連盟
名古屋市庭球協会
名古屋市ソフトボール協会
名古屋市ハンドボール協会
名古屋市スキー協会
名古屋市スケート協会
名古屋市ホッケー協会
名古屋市ボート協会
名古屋市ラグビーフットボール協会
名古屋市自転車競技連盟
名古屋市体操協会
名古屋市フェンシング協会
名古屋市レスリング協会
名古屋ウエイトリフティング協会
名古屋市アマチュアボクシング連盟
名古屋市ヨット連盟
名古屋市山岳連盟
名古屋市アーチェリー協会

競技団体
名古屋市ボウリング協会
名古屋市空手道連盟
名古屋市少林寺拳法協会
名古屋市日本拳法連盟
名古屋市アイスホッケー連盟
名古屋市ドッジボール協会
名古屋市バトン協会
名古屋市バウンドテニス協会
名古屋市綱引連盟

(39団体)

地域団体
名古屋市千種区体育協会
名古屋市東区体育協会
名古屋市北区体育協会
名古屋市西区体育協会
名古屋市中村区体育協会
名古屋市中区体育協会
名古屋市昭和区体育協会
名古屋市瑞穂区体育協会
名古屋市熱田区体育協会
名古屋市中川区体育協会
名古屋市港区体育協会
名古屋市南区体育協会
名古屋市守山区体育協会
名古屋市緑区体育協会
名古屋市名東区体育協会
名古屋市天白区体育協会

(16団体)

Ⅱ 名古屋市のスポーツ施設等一覧（令和４年７月１日現在）

i （公財）名古屋市教育スポーツ協会が管理するスポーツ施設

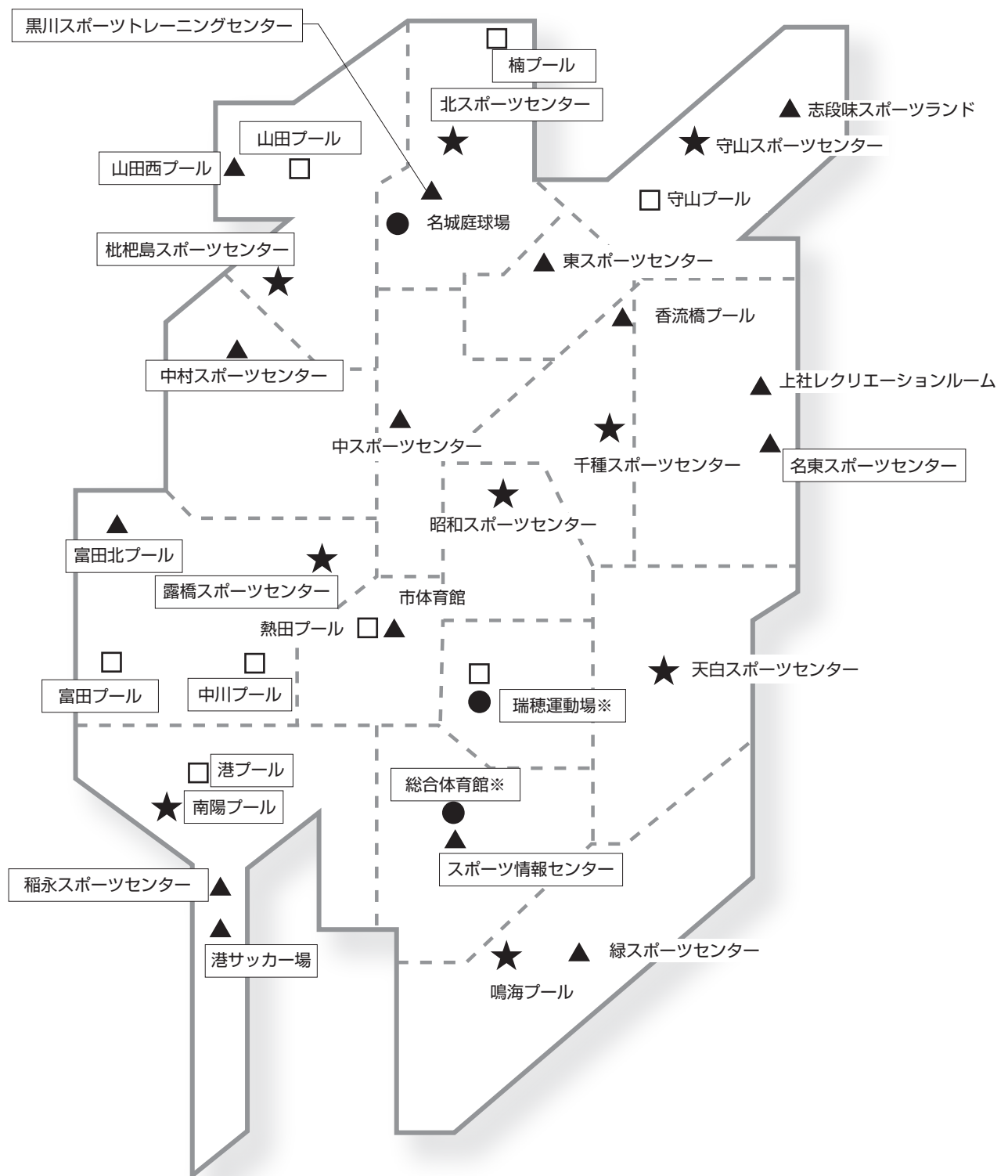
施 設 名		T E L	F A X	所 在 地	
総合体育館	レインボーホール等	(052)614-3111	(052)614-3120	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の１６
	レインボープール等	(052)614-6211	(052)614-6215	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の５
	サンホール	(052)614-3131	(052)614-3132	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の１６
瑞穂運動場		(052)836-8200	(052)836-8206	〒467-0062	瑞穂区山南通５丁目１番地（陸上競技場内）
露橋スポーツセンター		(052)362-4411	(052)362-4431	〒454-0022	中川区露橋二丁目１４番１号
枇杷島スポーツセンター		(052)532-4121	(052)522-8520	〒451-0053	西区枇杷島一丁目１番２号
稲永スポーツセンター		(052)384-0300	(052)384-0303	〒455-0845	港区野跡五丁目１番１０号
北スポーツセンター		(052)917-0501	(052)917-0510	〒462-0021	北区成願寺一丁目６番１２号
中村スポーツセンター		(052)413-8021	(052)413-8023	〒453-0053	中村区中村町字待屋４３番地の１
名東スポーツセンター		(052)705-4948	(052)705-4952	〒465-0067	名東区猪高町大字高針字勢子坊３０７番地の１２
南陽プール		(052)303-2015	(052)303-2016	〒455-0855	港区藤前四丁目７０１番地
山田西プール		(052)503-5151	(052)503-5272	〒452-0838	西区長先町１７３番地
富田北プール		(052)431-8991	(052)431-1466	〒454-0981	中川区吉津四丁目３２０１番地
黒川スポーツトレーニングセンター		(052)982-2770	(052)982-2775	〒462-0844	北区清水四丁目１７番１７号
港サッカー場		(052)384-0550	(052)384-7680	〒455-0845	港区野跡四丁目１１番１２号
港プール		(052)384-0300	(052)384-0303	〒455-0804	港区当知一丁目１４０１番地
中川プール		(052)413-8021	(052)413-8023	〒454-0851	中川区北江町３丁目１番地
楠プール		(052)917-0501	(052)917-0510	〒462-0006	北区若鶴町１２６
山田プール		(052)532-4121	(052)522-8520	〒452-0806	西区五才美町２３６-１
富田プール		(052)362-4411	(052)362-4431	〒454-0958	中川区東かの里町８０９番地
スポーツ情報センター		(052)614-7511	(052)614-7515	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の１６

※ネーミングライツ（命名権）の導入により、総合体育館の愛称は日本ガイシスポーツプラザ、瑞穂運動場の愛称はパロマ瑞穂スポーツパークです。

ii 他の管理者が管理するスポーツ施設

施 設 名		T E L	F A X	所 在 地	
市体育館		(052)872-6655	(052)872-6657	〒456-0023	熱田区六野二丁目５番３号
天白スポーツセンター		(052)806-0551	(052)806-1164	〒468-0051	天白区植田三丁目１５０２番地
緑スポーツセンター		(052)891-7775	(052)891-7779	〒458-0033	緑区相原郷一丁目２９０１番地
千種スポーツセンター		(052)782-0700	(052)782-6700	〒464-0808	千種区星が丘山手１２１番地
東スポーツセンター		(052)723-0411	(052)723-0440	〒461-0047	東区大幸南一丁目１番１０号
昭和スポーツセンター		(052)733-6831	(052)733-6832	〒466-0000	昭和区吹上二丁目６番１５号
守山スポーツセンター		(052)792-7066	(052)792-7067	〒463-0801	守山区竜泉寺二丁目１１２番地
中スポーツセンター		(052)232-2327	(052)232-2364	〒460-0008	中区栄一丁目３０番１０号
志段味スポーツランド		(052)736-3766	(052)736-3772	〒463-0003	守山区大字下志段味字生下り２２８７番地の１
鳴海プール		(052)891-9314	(052)891-4301	〒458-0847	緑区浦里一丁目６６番地
香流橋プール		(052)773-5311	(052)773-5805	〒464-0002	千種区香流橋一丁目２番３５号
名城庭球場		(052)912-3321	(052)912-3196	〒462-0846	北区名城一丁目３番３号
上社レクリエーションルーム		(052)771-0021	(052)760-1230	〒465-0025	名東区上社一丁目８０２番地
熱田プール		(052)882-8091	(052)882-8091	〒456-0023	熱田区六野二丁目５番２号
守山プール		(052)794-1319	(052)794-1319	〒463-0083	守山区村合町１９７番地

iii 名古屋市のスポーツ施設所在地概略図



● …月1回休館

※屋内プール、弓道場、アーチェリー場（総合体育館を除く）、トレーニング室、宿泊研修室は月曜休館

▲ …月曜休館

★ …金曜休館

□ …市民プール

（屋外冷水プール：夏期営業）

施設名は

（公財）名古屋市教育スポーツ協会が管理する施設

iv (公財)名古屋市教育スポーツ協会が管理する青少年施設

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
青少年交流プラザ	(052)991-8440	(052)991-8441	〒462-0845	北区柳原三丁目 6 番 8 号
青少年宿泊センター (青少年交流プラザ分館)	(052)624-4401	(052)624-4403	〒459-8001	緑区大高町字蝮池 4 番地の 6

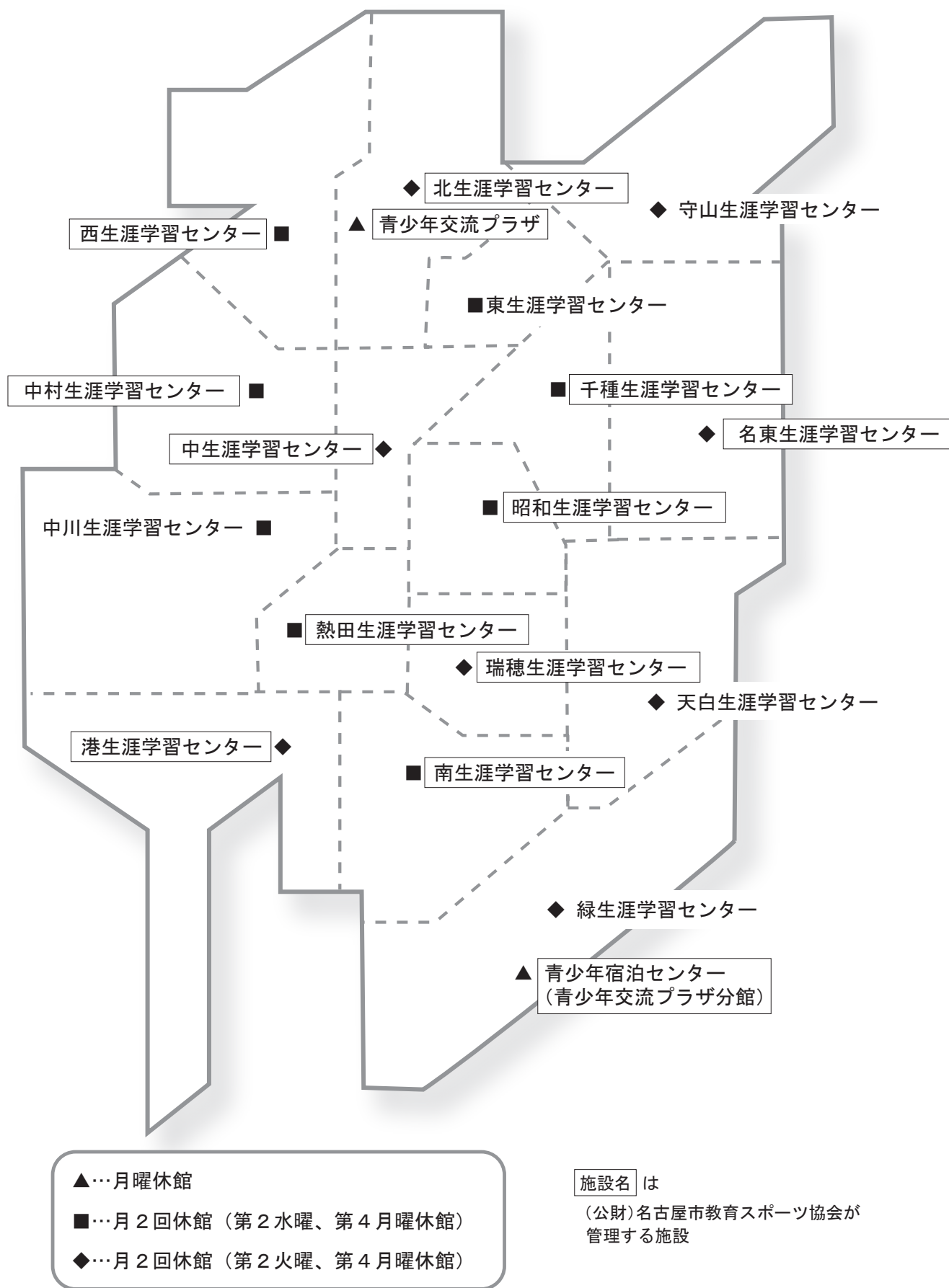
v (公財)名古屋市教育スポーツ協会が管理する生涯学習センター

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
千種生涯学習センター	(052)722-9666	(052)722-9696	〒464-0072	千種区振甫町 3 丁目 34 番地
北生涯学習センター	(052)981-3636	(052)981-3590	〒462-0841	北区黒川本通 2 丁目 16 番地の 3
西生涯学習センター	(052)532-1551	(052)532-1552	〒451-0061	西区浄心一丁目 1 番 45 号
中村生涯学習センター	(052)471-8121	(052)471-8122	〒453-0044	中村区鳥居通 3 丁目 1 番地の 3
中生涯学習センター	(052)321-5511	(052)321-5512	〒460-0016	中区橘一丁目 7 番 11 号
昭和生涯学習センター	(052)852-1144	(052)852-1143	〒466-0023	昭和区石仏町 1 丁目 48 番地
瑞穂生涯学習センター	(052)871-2255	(052)871-2256	〒467-0831	瑞穂区惣作町 2 丁目 27 番地の 3
熱田生涯学習センター	(052)671-7231	(052)671-7232	〒456-0036	熱田区熱田西町 2 番 13 号
港生涯学習センター	(052)653-5171	(052)653-5172	〒455-0013	港区港陽一丁目 10 番 18 号
南生涯学習センター	(052)613-1310	(052)613-1326	〒457-0833	南区東又兵衛町 5 丁目 1 番地の 10
名東生涯学習センター	(052)703-2622	(052)703-2732	〒465-0051	名東区社が丘三丁目 802 番地

vi 他の管理者が管理する生涯学習センター

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
東生涯学習センター	(052)932-4881	(052)932-4882	〒461-0004	東区葵一丁目 3 番 21 号
中川生涯学習センター	(052)362-3883	(052)362-3890	〒454-0037	中川区富川町 1 丁目 2 番地の 12
守山生涯学習センター	(052)791-7161	(052)791-7162	〒463-0067	守山区守山三丁目 2 番 6 号
緑生涯学習センター	(052)621-9121	(052)621-6915	〒458-0801	緑区鳴海町字本町 54 番地
天白生涯学習センター	(052)802-1161	(052)802-1162	〒468-0027	天白区天白町大字島田字黒石 4050 番地

vii 名古屋市の生涯学習センター等 所在地概略図



Ⅲ 学校開放事業一覧

ⅰ トワイライトスクール及びトワイライトルーム事業

1 概要（令和4年7月1日現在）

トワイライトスクール			トワイライトルーム		
事業名	トワイライトスクール		事業名	トワイライトルーム	
実施校	202校		実施校	50校	
活動場所	放課後学級ルーム、体育館及び運動場等		活動場所	プレイルーム、ライフルーム、体育館及び運動場等	
事業趣旨	児童の学校外活動として実施		事業趣旨	児童の学校外活動、留守家庭児童への活動支援	
参加対象	参加を希望する児童		参加対象	参加を希望する児童 (選択事業登録は別途登録が必要)	
活動時間	授業のある日	授業終了後～18時	活動時間	授業のある日	授業終了後～17時 (授業終了後～19時)
	授業のない日 (土曜日・長期休業期間中)	9時～18時 *日曜日、休日及び年末年始は休み		授業のない日 (土曜日)	9時～17時 (9時～18時) *休日及び年末年始は休み
				授業のない日 (土曜日を除く)	8時～17時 (8時～19時) *日曜日、休日及び年末年始は休み
保護者負担	一般登録	参加無料(ただし、保険関係負担金及び特別活動に伴う実費相当額の負担あり)	保護者負担	一般登録	参加無料(ただし、保険関係負担金及び特別活動に伴う実費相当額の負担あり)
				選択事業登録	上記に加えて、選択事業登録利用料 月額 ～18時1,500円、～19時6,500円

※ () は、選択事業登録の活動時間

2 実施校の推移（令和4年7月1日現在）

年度	トワイライトスクール		トワイライトルーム		計	うち生涯 学習開放
	うち生涯 学習開放	うち生涯 学習開放				
26	219	27	24		243	27
27	214	27	28		242	27
28	206	26	36	1	242	27
29	204	25	41	2	245	27
30	206	25	46	2	252	27
R1	205	25	47	2	252	27
R2	204	25	48	2	252	27
R3	204	25	50	2	254	27
R4	202	24	50	3	252	27

3 参加登録者等の推移

年度	トワイライトスクール		トワイライトルーム		生涯学習開放	
	校数	参加登録者数	校数	参加登録者数	校数	利用者数
26	219	47,220	24	5,692	27	254,681
27	214	46,952	28	6,885	27	276,981
28	206	45,372	36	8,870	27	272,114
29	204	44,976	41	10,586	27	262,116
30	206	44,814	46	11,760	27	272,329
R1	205	44,000	47	12,368	27	266,706
R2	204	36,238	48	10,954	27	17,381
R3	204	35,281	50	10,618	27	116,425

4 実施状況（小学校252校（令和4年7月1日現在））

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
千種	内山小	H18. 5. 19	
	春岡小	H10. 9. 4	
	千種小	H15. 5. 19	
	高見小	H12. 6. 12	
	大和小	H19. 5. 24	
	田代小	H14. 6. 5	
	上野小	H11. 7. 16	
	東山小	H12. 5. 19	
	自由ヶ丘小	H20. 6. 27	
	千石小	H21. 3. 10	
	富士見台小	H14. 5. 29	H26. 4. 1
	星ヶ丘小	H18. 5. 11	
	宮根小	H16. 5. 31	
	千代田橋小	H17. 6. 13	
	見付小	H13. 5. 31	
東	旭丘小	H14. 10. 17	
	筒井小	H12. 5. 8	
	東桜小	H19. 6. 4	
	矢田小	H11. 11. 1	
	山吹小	H14. 6. 3	H29. 4. 1
	東白壁小	H16. 5. 27	
	葵 小	H18. 5. 25	H30. 4. 1
	明倫小	H17. 6. 30	
	砂田橋小	H13. 6. 7	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
北	飯田小	H16. 5. 11	
	大杉小	H20. 5. 27	
	清水小	H12. 6. 1	
	杉村小	H19. 5. 31	
	名北小	H14. 6. 3	H28. 4. 1
	金城小	H11. 7. 16	(H22. 1. 1) H25. 4. 1
	城北小	H13. 6. 18	
	六郷小	H19. 5. 28	
	楠 小	H19. 6. 21	
	光城小	H14. 5. 13	
	東志賀小	H19. 6. 21	
	味鋤小	H18. 6. 1	R4. 4. 1
	西味鋤小	H17. 6. 9	
	楠西小	H15. 6. 19	
	如意小	H10. 9. 3	
	宮前小	H12. 4. 22	H26. 4. 1
	川中小	H18. 6. 1	
	六郷北小	H18. 5. 11	
	辻 小	H13. 5. 19	
西	榎 小	H15. 6. 5	
	栄生小	H19. 5. 31	
	上名古屋小	H17. 6. 16	
	城西小	H13. 6. 1	
	児玉小	H9. 10. 9	R3. 4. 1
	枇杷島小	H18. 5. 29	
	南押切小	H19. 6. 7	
	庄内小	H12. 5. 13	
	稲生小	H13. 6. 16	
	山田小	H18. 6. 1	
	平田小	H11. 9. 20	H27. 4. 1
	比良小	H17. 2. 3	
	大野木小	H19. 5. 24	
	浮野小	H14. 6. 3	
	比良西小	H12. 5. 29	
	中小田井小	H20. 6. 10	
	なごや小		H29. 5. 1

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム	
中村	中村小	H18. 5. 25		
	牧野小	H13. 5. 14	(H21. 4. 1) H25. 4. 1	
	米野小	H19. 5. 17		
	日比津小	H19. 4. 23		
	柳 小	H12. 5. 29		
	稲葉地小	H11. 7. 14		
	日吉小	H16. 5. 20		
	岩塚小	H12. 5. 11	H26. 4. 1	
	豊臣小	H14. 5. 16		
	千成小	H15. 5. 19		
	諏訪小	H10. 9. 3		
	稲西小	H18. 5. 22		
	八社小	H13. 5. 28	H25. 4. 1	
	ほのか小	H17. 6. 21	H26. 4. 1	
	笹島小	H22. 4. 12		
15 校	名城小	H20. 11. 28		
	栄 小	H11. 7. 2		
	松原小	H12. 5. 25		
	橘 小	H18. 5. 25		
	平和小	H14. 6. 6		
	老松小	H17. 5. 26		
	大須小	H13. 5. 28	(H21. 4. 1) H25. 4. 1	
	正木小	H19. 6. 18	H29. 4. 1	
	千早小	H15. 5. 29		
	御園小	H20. 6. 20		
中	鶴舞小	H10. 7. 13		
	吹上小	H17. 6. 6		
	村雲小	H18. 6. 8		
	松栄小	H16. 5. 18	H26. 4. 1	
	御器所小	H11. 10. 7		
	広路小	H12. 5. 11	(H22. 1. 1) H25. 4. 1	
	八事小	H20. 6. 13		
	白金小	H13. 5. 14		
	滝川小	H19. 5. 31		
	昭和			
9 校	弥富小	H11. 9. 8	(H21. 4. 1) H25. 4. 1	
	御劔小	H16. 5. 13		
	堀田小	H13. 6. 21		
	汐路小	H12. 5. 13		
	高田小	H14. 5. 30	H28. 4. 1	
	瑞穂小	H18. 5. 22		
	井戸田小	H15. 5. 26		
	穂波小	H10. 9. 3		
	豊岡小	H18. 6. 12		
	陽明小	H13. 5. 24		
11 校	中根小	H18. 5. 18		
	高蔵小	H10. 7. 16	(H21. 4. 1) H25. 4. 1	
	旗屋小	H11. 7. 13		
	千年小	H17. 5. 30		
	船方小	H12. 6. 15	H. 25. 4. 1	
	白鳥小	H15. 6. 16		
	野立小	H20. 6. 17		
	大宝小	H18. 6. 1	H28. 4. 1	
	熱田			
	7 校	高蔵小	H10. 7. 16	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
旗屋小		H11. 7. 13		
千年小		H17. 5. 30		
船方小		H12. 6. 15	H. 25. 4. 1	
白鳥小		H15. 6. 16		
野立小		H20. 6. 17		

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
中川	広見小	H19. 9. 20	
	露橋小	H16. 6. 10	
	愛知小	H13. 5. 28	
	八熊小	H15. 6. 9	
	昭和橋小	H11. 7. 15	
	常磐小	H18. 5. 29	
	八幡小	H15. 6. 19	H27. 4. 1
	荒子小	H14. 6. 6	
	正色小	H19. 5. 21	
	篠原小	H18. 6. 19	
	戸田小	H14. 5. 23	H27. 4. 1
	豊治小	H19. 5. 17	
	千音寺小	H18. 6. 12	H28. 4. 1
	長須賀小	H20. 5. 30	
	万場小	H16. 5. 24	
	野田小	H15. 6. 2	
	明正小	H19. 5. 17	
	中島小	H12. 5. 22	
	玉川小	H19. 5. 21	
	西中島小	H19. 5. 21	
	五反田小	H13. 5. 17	
	春田小	H12. 6. 26	
	赤星小	H20. 5. 23	
	西前田小	H17. 6. 24	
24 校	東築地小	H15. 6. 13	
	中川小	H19. 5. 10	
	大手小	H17. 4. 21	
	港西小	H13. 5. 31	
	小碓小	H15. 5. 26	H30. 4. 1
	西築地小	H19. 6. 21	
	高木小	H19. 6. 18	
	南陽小	H12. 5. 29	H25. 4. 1
	港楽小	H18. 5. 29	
	成章小	H18. 5. 25	
港	明德小	H9. 10. 28	
	稲永小	H13. 6. 21	H26. 4. 1
	東海小	H16. 5. 24	
	野跡小	H17. 5. 19	
	当知小	H19. 6. 14	
	正保小	H12. 5. 8	
	神宮寺小	H11. 9. 3	
	西福田小	H14. 5. 15	
	福田小	H16. 6. 17	
	福春小	H18. 4. 1	
20 校	豊田小	H13. 6. 7	
	明治小	H15. 5. 26	
	呼続小	H16. 6. 3	
	白水小	H12. 5. 30	
	桜 小	H17. 5. 23	
	道徳小	H13. 6. 9	
	笠寺小	H12. 6. 1	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	大生小	H15. 5. 19	
	大磯小	H14. 6. 3	
	千鳥小	H18. 5. 18	
南	菊住小	H11. 7. 14	R2. 7. 1
	宝 小	H21. 1. 20	
	柴田小	H19. 6. 14	
	伝馬小	H14. 5. 16	
	星崎小	H19. 7. 2	
	春日野小	H18. 6. 8	
	笠東小	H18. 6. 8	
	宝南小	H21. 1. 16	
18 校			

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
守山	大森小	H16. 5. 10	
	小幡小	H12. 6. 26	H29. 4. 1
	守山小	H12. 6. 15	H28. 4. 1
	甘軒家小	H15. 5. 22	
	鳥羽見小	H20. 6. 27	
	瀬古小	H18. 6. 29	
	志段味東小	H14. 10. 7	
	志段味西小	H20. 6. 6	H30. 4. 1
	白沢小	H14. 6. 20	
	苗代小	H25. 4. 12	
	天子田小	H13. 6. 16	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	二城小	H20. 6. 3	
	森孝東小	H21. 1. 30	
	森孝西小	H11. 9. 2	
	西城小	H19. 6. 1	
	大森北小	H13. 5. 21	
	小幡北小	H10. 7. 15	H27. 4. 1
	吉根小	H19. 6. 21	
	下志段味小	H24. 4. 9	
	上志段味小	R3. 4. 6	

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
緑	鳴海小	H12. 5. 15	
	平子小	H15. 5. 22	
	鳴海東部小	H18. 5. 31	H31. 4. 1
	東丘小	H19. 6. 21	
	鳴子小	H19. 5. 28	
	有松小	H20. 7. 11	H25. 4. 1
	大高小	H14. 5. 20	
	緑 小	H19. 6. 18	
	片平小	H15. 5. 29	
	戸笠小	H13. 5. 31	H30. 4. 1
	太子小	H18. 5. 11	
	旭出小	H14. 5. 27	
	浦里小	H11. 7. 15	
	黒石小	H19. 5. 24	H28. 4. 1
	長根台小	H16. 6. 10	
	桶狭間小	H18. 6. 8	
	相原小	H13. 5. 14	
	桃山小	H17. 5. 26	
	南陵小	H12. 11. 18	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	大高北小	H20. 5. 30	R3. 4. 1
	大高南小	H24. 6. 28	
	徳重小	H20. 10. 31	
	滝ノ水小	H17. 6. 9	
	大清水小	H20. 6. 27	
	常安小	H10. 7. 13	
	小坂小	H15. 6. 30	H26. 4. 1
	熊の前小	H20. 6. 20	

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
名東	猪高小	H14. 6. 17	
	藤が丘小	H16. 5. 28	H28. 4. 1
	香流小	H20. 5. 16	H28. 4. 1
	猪子石小	H18. 5. 25	
	高針小	H15. 5. 19	
	西山小	H11. 10. 1	
	名東小	H20. 6. 3	
	梅森坂小	H17. 5. 23	H26. 4. 1
	本郷小	H12. 4. 10	
	上社小	H14. 5. 20	
	豊が丘小	H19. 6. 4	
	引山小	H12. 6. 15	
	極楽小	H10. 9. 2	R4. 4. 1
	平和が丘小	H13. 5. 24	
	前山小	H13. 5. 17	
	牧の原小	H18. 5. 15	
	野並小	H12. 4. 27	
	高坂小	H25. 4. 12	
	八事東小	H16. 4. 26	
	表山小	H18. 5. 25	
	平針小	H15. 5. 15	H29. 4. 1
	平針南小	H24. 6. 18	
	植田小	H21. 11. 2	
	しまだ小	H24. 6. 21	
	山根小	H17. 6. 9	
	相生小	H14. 6. 3	
	大坪小	H15. 6. 5	H29. 4. 1
	原 小	H19. 6. 12	
	植田南小	H21. 11. 26	
	平針北小	H13. 6. 18	
	植田北小	H18. 5. 29	

ii 学校開放事業の概要（令和４年７月１日現在）

事業名		生涯学習開放
開放校		見付小、高見小、旭丘小、矢田小、山吹小、比良西小、諏訪小、松原小、吹上小、滝川小、穂波小、八熊小、春田小、明德小、東海小、神宮寺小、明治小、道德小、伝馬小、守山小、森孝西小、相原小、常安小、本郷小、極楽小、表山小、相生小 計２７校
開放場所		体育館、運動場、特別活動室、研修会議室、図書室、音楽室及びプール等
事業趣旨		地域の生涯学習や生涯スポーツの場を提供
参加対象		一般市民(団体・個人登録が必要)
開放時間	平日	18時～21時
	土曜日、日曜日及び休日（月曜日を除く）	9時～正午及び13時～17時
使用料		600～2,250円 図書室及びプールは無料
休業日		月曜日及び年末年始

IV 令和3年度施設利用状況

i スポーツ・レクリエーション施設

	総利用者数	レインボー ホール	レインボー アイス アリーナ	競技場				弓道 (練習) 場	アーチェ リー (練習) 場	軽運動室	トレーニング (サウナ) 室
				第1競技場等 ※1	第2競技場等 ※2	第3競技場等 ※3	競技場 計				
総合体育館	1,029,154	578,694	24,049	61,855	29,661		91,516	28,978	6,113	6,593	71,974
瑞穂運動場	702,785			35,472	18,759	17,496	71,727	9,937	5,678		77,922
露橋スポーツ センター	161,060			39,590	18,837	18,881	77,308				50,339
枇杷島スポーツ センター	222,362			68,895	20,996		89,891	3,196		15,917	62,155
稲永スポーツ センター	154,859			46,356	18,208		64,564	6,676		23,987	55,590
北森スポーツ センター	116,648			0	21,181		21,181	2,609		15,089	47,811
中村スポーツ センター	231,261			55,711	23,545		79,256	5,665		20,622	64,134
名東スポーツ センター	211,007			51,225	29,184		80,409			16,109	56,628
港サッカー場	30,688										
南陽プール	80,092									7,783	25,694
山田西 プール	41,876										
富田北 プール	67,055				20,484		20,484				
港プール	10,432										
中川プール	3,339										
楠プール	5,465										
富田プール	4,716										
山田プール	6,945										
黒川スポーツレ ニングセンター	86,397									18,141	68,256
青少年交流プラザ	23,365										
青少年宿泊センター	33,710										
中村生涯学 習センター	57,455										
熱田生涯学 習センター	53,801										
名東生涯学 習センター	58,434										
千種生涯学 習センター	68,322										
北森生涯学 習センター	109,855										
中村生涯学 習センター	55,409										
昭和生涯学 習センター	54,601										
瑞穂生涯学 習センター	57,115										
港生涯学 習センター	41,369										
南森生涯学 習センター	63,800										
西森生涯学 習センター	66,947										
計	3,910,324	578,694	24,049	359,104	200,855	36,377	596,336	57,061	11,791	124,241	580,503

※1 総合体育館第2競技場を含む

※2 総合体育館第3競技場及び富田北プール体育室、露橋柔道場を含む

※3 露橋剣道場を含む

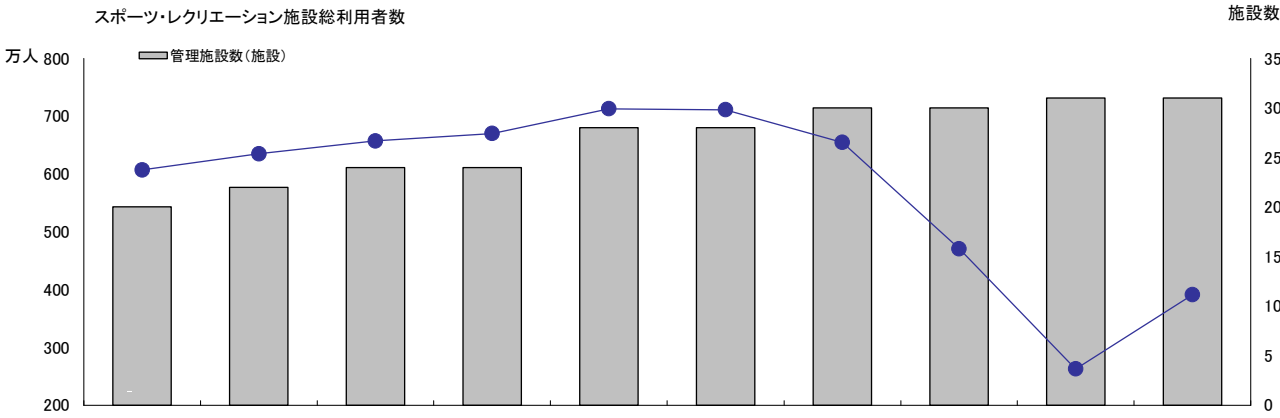
※4 総合体育館貴賓室・飛込練習室・宿泊研修室・選手控室・レセプションホール・研修室・会議室・和室、瑞穂運動場宿泊研修室・会議室
青少年交流プラザ・青少年宿泊センター及び生涯学習センターを含む

※5 休場について

◆瑞穂運動場	陸上競技場建て替え工事 テニスコート スポーツレクリエーション情報システム移設工事 北陸上競技場 大型映像装置改修工事 ラグビー場 受変電設備取替工事	R3.3.1～当面の間 R3.6.21～R3.6.28 R4.1.5～R4.3.4
◆露橋SC	全館 設備改修工事	R4.1.14～R4.2.3
◆北SC	第1競技場 天井工事 温水プール 天井工事 全館 自動火災報知設備取替工事	R4.2.16～R4.2.25 R3.4.1～R4.3.31 R3.9.1～R4.3.31 R3.12.22～R3.12.28
◆千種LLC	体育室 照明改修工事	R4.1.4～R4.2.28
◆瑞穂LLC	体育室 照明改修工事	R4.1.17～R4.2.16
◆熱田LLC	体育室 床改修工事	R4.2.21～R4.3.2
◆交流プラザ	全館 ロビー吊り天井改修工事	R3.4.1～R3.12.31
◆宿セン	全館 給湯設備工事	R4.1.25～R4.1.30

プール					陸上競技場 (本陸・北陸 レク広場)	ラグビー (練習) 場 サッカー場	野球場	テニス コート	相撲場	会議室 研修施設等 ※4	
屋内			屋外	プール 計							
温水プール	レインボー プール (観戦・観込み)	小計	市民プール								
96,772	57,616	154,388		154,388						66,849	総 合 体 育 館
51,600		51,600	16,436	68,036	222,842	91,763	80,555	61,975	4,230	8,120	瑞 穂 運 動 場
28,725		28,725		28,725						4,688	露 橋 ス ポ ー ツ セ
44,948		44,948		44,948						6,255	枇 杷 島 ス ポ ー ツ セ
										4,042	稲 永 ス ポ ー ツ セ
28,701		28,701		28,701						1,257	北 セ ス ポ ー ツ セ
55,973		55,973		55,973						5,611	中 セ 村 ス ポ ー ツ セ
54,040		54,040		54,040						3,821	名 セ 東 ス ポ ー ツ セ
						28,963				1,725	港 サ ッ カ ー 場
46,209		46,209		46,209						406	南 陽 プ ー ル
41,876		41,876		41,876							山 プ 田 西 ル
46,571		46,571		46,571							富 プ 田 北 ル
			10,432	10,432							港 プ ー ル
			3,339	3,339							中 川 プ ー ル
			5,465	5,465							楠 プ ー ル
			4,716	4,716							富 田 プ ー ル
			6,945	6,945							山 田 プ ー ル
											黒川スポーツトレ ニングセンター
										23,365	青 少 年 交 流 プ ラ ザ
										33,710	青 少 年 宿 泊 セ ン タ ー
										57,455	中 セ 村 生 涯 学 習 セ
										53,801	熱 セ 田 生 涯 学 習 セ
										58,434	名 セ 東 生 涯 学 習 セ
										68,322	千 セ 種 生 涯 学 習 セ
										109,855	北 セ 生 涯 学 習 セ
										55,409	中 セ 生 涯 学 習 セ
										54,601	昭 セ 和 生 涯 学 習 セ
										57,115	瑞 セ 穂 生 涯 学 習 セ
										41,369	港 セ 生 涯 学 習 セ
										63,800	南 セ 生 涯 学 習 セ
										66,947	西 セ 生 涯 学 習 セ
495,415	57,616	553,031	47,333	600,364	222,842	120,726	80,555	61,975	4,230	846,957	計

ii 利用者数の推移
1 体育施設等



年 度	24	25	26	27	28	29	30	R01	R02	R03
管理施設数（施設）	20	22	24	24	28	28	30	30	31	31
全施設総利用者数(人)	6,070,964	6,348,798	6,573,616	6,698,175	7,129,273	7,111,250	6,544,172	4,705,850	2,627,787	3,910,324
市体育館										
露橋ＳＣ	235,918	246,176	239,680	245,427	215,070	274,389	279,015	249,732	132,106	161,060
名城庭球場	71,529	71,858								
瑞穂運動場	1,366,522	1,462,998	1,432,995	1,407,813	1,513,577	1,456,342	1,404,393	1,267,805	521,117	702,785
南陽ブルー	87,393	94,338	89,914	95,693	98,723	98,531	100,892	97,307	67,110	80,092
枇杷島ＳＣ	274,913	278,846	284,855	290,481	311,457	330,825	323,553	170,542	165,514	222,362
総合体育館	1,911,103	2,000,564	2,052,783	2,103,631	2,249,287	2,244,408	1,966,680	581,121	370,147	1,029,154
武豊野外活動Ｃ	84,535	70,685								
稲永ＳＣ	211,189	223,834	234,752	229,893	262,382	228,337	149,063	235,186	102,781	154,859
富田北ブルー	94,252	98,185	95,428	95,042	93,815	92,914	68,377	0	45,843	67,055
天白ＳＣ										
緑ＳＣ										
北ＳＣ	234,889	237,241	238,562	241,414	255,151	255,337	250,285	237,316	148,970	116,648
山田西ブルー	43,797	46,039	40,378	46,900	50,860	46,385	46,420	42,890	33,333	41,876
港サッカー場	34,144	43,207	36,144	47,946	47,190	37,077	37,696	44,002	13,960	30,688
香流橋ブルー										
中村ＳＣ	332,577	339,472	347,163	333,092	359,557	350,561	362,726	365,759	167,711	231,261
熱田ブルー	12,849	11,287	8,780	10,723						
黒川トレセン	99,493	98,602	104,012	109,055	112,836	106,712	116,055	102,748	66,512	86,397
名東ＳＣ	285,673	288,557	267,997	297,181	321,573	315,922	325,212	298,105	159,326	211,007
楠ブルー	5,292	4,996	4,019	4,725	4,351	4,039	4,605	4,466	5,481	5,465
千種ＳＣ	342,696	365,460	357,953	373,007						
山田ブルー							5,299	5,578	7,099	6,945
富田ブルー					6,427	5,595	4,937	5,210	4,967	4,716
中ＳＣ	249,447	255,590	265,313	276,650	294,034	297,385				
東ＳＣ										
港ブルー		17,019	12,503	15,421	15,102	13,620	12,199	11,850	10,142	10,432
青少年宿泊センター	92,753	88,046	90,408	82,664	84,961	87,619	87,727	88,601	28,608	33,710
中川ブルー		5,798	4,603	5,402	4,960	4,151	3,800	4,051	3,362	3,339
青少年交流プラザ			131,102	141,585	139,175	143,683	146,129	138,211	64,305	23,365
中村生涯学習センター			89,758	92,119	84,355	90,318	93,096	73,707	42,093	57,455
熱田生涯学習センター			63,400	69,242	48,039	70,596	68,774	63,398	40,846	53,801
名東生涯学習センター			81,114	83,069	83,510	88,482	85,609	78,077	42,487	58,434
千種生涯学習センター					97,225	94,744	97,720	88,017	58,431	68,322
北生涯学習センター					115,511	117,866	112,730	101,179	65,165	109,855
中生涯学習センター					84,055	84,536	83,459	74,834	42,344	55,409
昭和生涯学習センター					85,451	82,981	81,577	74,011	46,516	54,601
瑞穂生涯学習センター					90,639	87,895	90,607	75,664	41,592	57,115
港生涯学習センター							50,142	50,229	30,469	41,369
南生涯学習センター							85,395	76,254	50,505	63,800
西生涯学習センター									48,945	66,947

※28年度より自主開館分の利用者数を含む

要 覧 2022

発行年月：令和4年9月発行

発 行：公益財団法人 名古屋市教育スポーツ協会

〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町5丁目1番地の16

TEL (052) 614-7500 (代)

FAX (052) 614-7525

URL <http://www.nespa.or.jp/>

発行部数：250部 年刊 無料 特定

印刷製本：株式会社マルワ



Nagoya city Education and
SPorts Association



(公財)名古屋教育スポーツ協会は
子育て支援企業の認定事業者です。



(公財)名古屋教育スポーツ協会は
プライバシーマークの認定事業者です。

